

(様式第 10)

名大医総第61号  
平成28年10月4日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人名古屋大学  
総長 松尾 清一(印)

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 住 所 | 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 |
| 氏 名 | 国立大学法人 名古屋大学         |

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

|              |
|--------------|
| 名古屋大学医学部附属病院 |
|--------------|

3 所在の場所

|                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 〒466-8560<br>名古屋市昭和区鶴舞町65番地 | 電話(052)741-2111 |
|-----------------------------|-----------------|

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

|   |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜<br><input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜 |
|---|

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

|  |  |
|--|--|
| 内科   | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 |
| 内科と組み合わせた診療科名等<br>1 血液内科 2 糖尿病・内分泌内科 3 腎臓内科 4 老年内科 5 呼吸器内科<br>6 消化器内科 7 循環器内科 8 神経内科 |  |
| 診療実績   |  |

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

|   |       |
|---|-------|
| 外科  | 有 ・ 無 |
| 外科と組み合わせた診療科名<br>1 心臓外科    2 血管外科    3 移植外科    4 消化器外科    5 乳腺・内分泌外科<br>6 呼吸器外科    7 小児外科    8 形成外科 |       |
| 診療実績  |       |

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

|   |
|---|
| 1精神科    2小児科    3整形外科    4脳神経外科    5皮膚科    6泌尿器科    7産婦人科<br>8産科    9婦人科    10眼科    11耳鼻咽喉科    12放射線科    13放射線診断科<br>14放射線治療科    15麻酔科    16救急科 |
|---|

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

|   |       |
|---|-------|
| 歯科  | 有 ・ 無 |
| 歯科と組み合わせた診療科名<br>1 歯科口腔外科    2    3    4    5    6<br>7 |       |
| 歯科の診療体制   |       |

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

|  |
|--|
| 1 児童精神科    2 病理診断科    3 リハビリテーション科    4    5    6    7<br>8    9    10    11    12    13    14<br>15    16    17    18    19    20    21 |
|--|

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

|     |     |    |    |      |       |
|-----|-----|----|----|------|-------|
| 精神  | 感染症 | 結核 | 療養 | 一般   | 合計    |
| 50床 | 0床  | 0床 | 0床 | 985床 | 1035床 |

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

| 職 種     | 常 勤   | 非常勤  | 合 計     | 職 種           | 員 数 | 職 種         | 員 数  |
|---------|-------|------|---------|---------------|-----|-------------|------|
| 医 師     | 358人  | 302人 | 604.6人  | 看 護 補 助 者     | 53人 | 診療エックス線技師   | 0人   |
| 歯 科 医 師 | 9人    | 26人  | 31.8人   | 理 学 療 法 士     | 28人 | 臨床検査技師      | 75人  |
| 薬 剤 師   | 81人   | 10人  | 90.3人   | 作 業 療 法 士     | 6人  | 衛生検査技師      | 0人   |
| 保 健 師   | 0人    | 0人   | 0人      | 視 能 訓 練 士     | 11人 | そ の 他       | 0人   |
| 助 産 師   | 33人   | 0人   | 33人     | 義 肢 装 具 士     | 0人  | あん摩マッサージ指圧師 | 3人   |
| 看 護 師   | 1059人 | 44人  | 1090.8人 | 臨 床 工 学 士     | 30人 | 医療社会事業従事者   | 11人  |
| 准 看 護 師 | 1人    | 0人   | 1人      | 栄 養 士         | 0人  | その他の技術員     | 105人 |
| 歯科衛生士   | 3人    | 0人   | 3人      | 歯 科 技 工 士     | 1人  | 事 務 職 員     | 276人 |
| 管理栄養士   | 8人    | 0人   | 8人      | 診 療 放 射 線 技 師 | 65人 | そ の 他 の 職 員 | 6人   |

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年 10月 1日現在)

| 専門医名          | 人 数 | 専門医名            | 人 数  |
|---------------|-----|-----------------|------|
| 総合内科専門医       | 31人 | 眼 科 専 門 医       | 9人   |
| 外 科 専 門 医     | 95人 | 耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医 | 12人  |
| 精 神 科 専 門 医   | 11人 | 放 射 線 科 専 門 医   | 21人  |
| 小 児 科 専 門 医   | 33人 | 脳 神 経 外 科 専 門 医 | 21人  |
| 皮 膚 科 専 門 医   | 5人  | 整 形 外 科 専 門 医   | 41人  |
| 泌 尿 器 科 専 門 医 | 14人 | 麻 酔 科 専 門 医     | 18人  |
| 産 婦 人 科 専 門 医 | 24人 | 救 急 科 専 門 医     | 7人   |
|               |     | 合 計             | 342人 |

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 石黒 直樹 ) 任命年月日 平成25年4月1日

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで、名古屋大学医学部附属病院材料部長事務取扱を務め、医療機器安全管理責任者であった。  
 平成22年4月1日から平成25年3月31日まで、名古屋大学医学部附属病院材料部長を務め、医療機器安全管理責任者であった。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

|              | 歯科等以外   | 歯科等   | 合計      |
|--------------|---------|-------|---------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 829.6人  | 9.2人  | 838.8人  |
| 1日当たり平均外来患者数 | 2350.7人 | 86.4人 | 2437.1人 |
| 1日当たり平均調剤数   |         |       | 718.8 剤 |
| 必要医師数        |         |       | 222人    |
| 必要歯科医師数      |         |       | 7人      |
| 必要薬剤師数       |         |       | 28人     |
| 必要(准)看護師数    |         |       | 502人    |

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

| 施設名      | 床面積  | 主要構造     | 設備概要                          |       |         |          |
|----------|--|----------|-------------------------------|-------|---------|----------|
| 集中治療室    | 1,529 m <sup>2</sup>   | 鉄筋コンクリート | 病床数                           | 44床   | 心電計     | (有)・無    |
|          |  |          | 人工呼吸装置                        | (有)・無 | 心細動除去装置 | (有)・無    |
|          |  |          | その他の救急蘇生装置                    | (有)・無 | ペースメーカー | (有)・無    |
| 無菌病室等    | [固定式の場合] 床面積 291 m <sup>2</sup><br>[移動式の場合] 台数 台                 |          | 病床数                           | 27床   |         |          |
| 医薬品情報管理室 | [専用室の場合] 床積 54 m <sup>2</sup><br>[共用室の場合] 共用する室名 薬歴管理室、高度医療薬剤支援室 |          |                               |       |         |          |
| 化学検査室    | 559 m <sup>2</sup>   | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 生化学自動分析装置、免疫自動分析装置     |       |         |          |
| 細菌検査室    | 128 m <sup>2</sup>   | 鉄筋コンクリート | (主な設備) バクテアラート3D、マイクロスキャン     |       |         |          |
| 病理検査室    | 341 m <sup>2</sup>   | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 検体検査装置クリオスタット、自動脱水包埋装置 |       |         |          |
| 病理解剖室    | 66 m <sup>2</sup>  | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 解剖台、クリーンベンチ、臓器撮影台      |       |         |          |
| 研究室      | 142 m <sup>2</sup>   | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 次世代シーケンサー、質量分析装置       |       |         |          |
| 講義室      | 55 m <sup>2</sup>  | 鉄筋コンクリート | 室数                            | 1室    | 収容定員    | 35人      |
| 図書室      | 41 m <sup>2</sup>  | 鉄筋コンクリート | 室数                            | 1室    | 蔵書数     | 8,400冊程度 |

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

| 算定期間 |                       | 平成27年4月1日～平成28年3月31日 |       |
|------|-----------------------|----------------------|-------|
| 紹介率  | 65.0%                 | 逆紹介率                 | 50.3% |
| 算出根拠 | A：紹介患者の数              | 16,473人              |       |
|      | B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数  | 14,478人              |       |
|      | C：救急用自動車によって搬入された患者の数 | 2,226人               |       |
|      | D：初診の患者の数             | 28,728人              |       |

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

| 氏名 | 所属 | 委員長<br>(○を付す) | 選定理由 | 利害関係 | 委員の要件<br>該当状況 |
|----|----|---------------|------|------|---------------|
|    |    |               |      | 有・無  |               |

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

|               |     |
|---------------|-----|
| 委員名簿の公表の有無    | 有・無 |
| 委員の選定理由の公表の有無 | 有・無 |
| 公表の方法         |     |



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類  | 取扱患者数 |
|--|-------|
| パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)  | 3人    |
| 術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)  | 3人    |
| 培養骨髄細胞移植による骨延長術 骨系統疾患(低身長又は下肢長不等である者に係るものに限る。)   | 0人    |
| ペトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)   | 5人    |
| インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)   | 1人    |
| 術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法  | 0人    |
| 上肢カッピングガイド及び上肢カスタムメイドプレートを用いた上肢骨変形矯正術 骨端線障害若しくは先天奇形に起因する上肢骨(長管骨に限る。以下この号において同じ。)の変形又は上肢骨の変形治癒骨折(一上肢に二以上の骨変形を有する者に係るものを除く。) | 1人    |
| カペシタビン内服投与、シスプラチン静脈内投与及びドセタキセル腹腔内投与の併用療法   | 7人    |
| 骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法   | 0人    |
| S-1内服投与、オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん   | 2人    |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

|           |  |       |   |
|-----------|--|-------|---|
| 医療技術名     |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |  |       |   |
| 特になし      |  |       |   |
| 医療技術名     |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |  |       |   |
| 医療技術名     |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |  |       |   |
| 医療技術名     |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |  |       |   |
| 医療技術名     |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |  |       |   |
| 医療技術名     |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |  |       |   |
| 医療技術名     |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |  |       |   |
| 医療技術名     |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |  |       |   |

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

|    | 疾患名                        | 患者数 |     | 疾患名                  | 患者数 |
|----|----------------------------|-----|-----|----------------------|-----|
| 1  | 球脊髄性筋萎縮症                   | 97  | 56  | ベーチェット病              | 71  |
| 2  | 筋萎縮性側索硬化症                  | 70  | 57  | 特発性拡張型心筋症            | 68  |
| 3  | 脊髄性筋萎縮症                    | 1   | 58  | 肥大型心筋症               | 7   |
| 4  | 原発性側索硬化症                   | 1   | 59  | 拘束型心筋症               | 0   |
| 5  | 進行性核上性麻痺                   | 11  | 60  | 再生不良性貧血              | 63  |
| 6  | パーキンソン病                    | 398 | 61  | 自己免疫性溶血性貧血           | 1   |
| 7  | 大脳皮質基底核変性症                 | 9   | 62  | 発作性夜間ヘモグロビン尿症        | 1   |
| 8  | ハンチントン病                    | 4   | 63  | 特発性血小板減少性紫斑病         | 89  |
| 9  | 神経有棘赤血球症                   | 0   | 64  | 血栓性血小板減少性紫斑病         | 1   |
| 10 | シャルコー・マリー・トウス病             | 2   | 65  | 原発性免疫不全症候群           | 12  |
| 11 | 重症筋無力症                     | 105 | 66  | IgA腎症                | 17  |
| 12 | 先天性筋無力症候群                  | 0   | 67  | 多発性嚢胞腎               | 8   |
| 13 | 多発性硬化症／視神経脊髄炎              | 89  | 68  | 黄色靱帯骨化症              | 13  |
| 14 | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー | 57  | 69  | 後縦靱帯骨化症              | 68  |
| 15 | 封入体筋炎                      | 1   | 70  | 広範脊柱管狭窄症             | 4   |
| 16 | クドウ・深瀬症候群                  | 1   | 71  | 特発性大腿骨頭壊死症           | 124 |
| 17 | 多系統萎縮症                     | 34  | 72  | 下垂体性ADH分泌異常症         | 29  |
| 18 | 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)        | 77  | 73  | 下垂体性TSH分泌亢進症         | 2   |
| 19 | ライソゾーム病                    | 3   | 74  | 下垂体性PRL分泌亢進症         | 10  |
| 20 | 副腎白質ジストロフィー                | 1   | 75  | クッシング病               | 8   |
| 21 | ミトコンドリア病                   | 9   | 76  | 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症     | 1   |
| 22 | もやもや病                      | 81  | 77  | 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症      | 60  |
| 23 | プリオン病                      | 0   | 78  | 下垂体前葉機能低下症           | 65  |
| 24 | 亜急性硬化性全脳炎                  | 0   | 79  | 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体) | 0   |
| 25 | 進行性多巣性白質脳症                 | 0   | 80  | 甲状腺ホルモン不応症           | 0   |
| 26 | HTLV-1関連脊髄症                | 0   | 81  | 先天性副腎皮質酵素欠損症         | 1   |
| 27 | 特発性基底核石灰化症                 | 0   | 82  | 先天性副腎低形成症            | 0   |
| 28 | 全身性アミロイドーシス                | 13  | 83  | アジソン病                | 0   |
| 29 | ウルリッヒ病                     | 0   | 84  | サルコイドーシス             | 116 |
| 30 | 遠位型ミオパチー                   | 1   | 85  | 特発性間質性肺炎             | 10  |
| 31 | ベスレムミオパチー                  | 0   | 86  | 肺動脈性肺高血圧症            | 41  |
| 32 | 自己貪食空胞性ミオパチー               | 0   | 87  | 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症       | 0   |
| 33 | シュワルツ・ヤンペル症候群              | 0   | 88  | 慢性血栓塞栓性肺高血圧症         | 33  |
| 34 | 神経線維腫症                     | 48  | 89  | リンパ管筋腫症              | 8   |
| 35 | 天疱瘡                        | 19  | 90  | 網膜色素変性症              | 50  |
| 36 | 表皮水疱症                      | 9   | 91  | バッド・キアリ症候群           | 5   |
| 37 | 膿疱性乾癬(汎発型)                 | 4   | 92  | 特発性門脈圧亢進症            | 1   |
| 38 | スティーヴンス・ジョンソン症候群           | 0   | 93  | 原発性胆汁性肝硬変            | 43  |
| 39 | 中毒性表皮壊死症                   | 0   | 94  | 原発性硬化性胆管炎            | 10  |
| 40 | 高安動脈炎                      | 41  | 95  | 自己免疫性肝炎              | 10  |
| 41 | 巨細胞性動脈炎                    | 0   | 96  | クローン病                | 275 |
| 42 | 結節性多発動脈炎                   | 7   | 97  | 潰瘍性大腸炎               | 403 |
| 43 | 顕微鏡的多発血管炎                  | 19  | 98  | 好酸球性消化管疾患            | 1   |
| 44 | 多発血管炎性肉芽腫症                 | 11  | 99  | 慢性特発性偽性腸閉塞症          | 0   |
| 45 | 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症             | 4   | 100 | 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症      | 0   |
| 46 | 悪性関節リウマチ                   | 7   | 101 | 腸管神経節細胞減少症           | 0   |
| 47 | バージャー病                     | 31  | 102 | ルビンシュタイン・テイビ症候群      | 0   |
| 48 | 原発性抗リン脂質抗体症候群              | 0   | 103 | CFC症候群               | 0   |
| 49 | 全身性エリテマトーデス                | 206 | 104 | コステロ症候群              | 0   |
| 50 | 皮膚筋炎／多発性筋炎                 | 91  | 105 | チャージ症候群              | 0   |
| 51 | 全身性強皮症                     | 130 | 106 | クリオピリン関連周期熱症候群       | 0   |
| 52 | 混合性結合組織病                   | 14  | 107 | 全身型若年性特発性関節炎         | 0   |
| 53 | シェーグレン症候群                  | 12  | 108 | TNF受容体関連周期性症候群       | 0   |
| 54 | 成人スチル病                     | 5   | 109 | 非典型溶血性尿毒症症候群         | 0   |
| 55 | 再発性多発軟骨炎                   | 2   | 110 | ブラウ症候群               | 0   |

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

|     | 疾患名                            | 患者数 |     | 疾患名                | 患者数 |
|-----|--------------------------------|-----|-----|--------------------|-----|
| 111 | 先天性ミオパチー                       | 0   | 161 | 家族性良性慢性天疱瘡         | 0   |
| 112 | マリネスコ・シェーグレン症候群                | 0   | 162 | 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。) | 0   |
| 113 | 筋ジストロフィー                       | 1   | 163 | 特発性後天性全身性無汗症       | 0   |
| 114 | 非ジストロフィー性ミオトニー症候群              | 0   | 164 | 眼皮膚白皮症             | 0   |
| 115 | 遺伝性周期性四肢麻痺                     | 0   | 165 | 肥厚性皮膚骨膜炎           | 0   |
| 116 | アトピー性脊髄炎                       | 0   | 166 | 弾性線維性仮性黄色腫         | 0   |
| 117 | 脊髄空洞症                          | 0   | 167 | マルファン症候群           | 1   |
| 118 | 脊髄髄膜瘤                          | 0   | 168 | エーラス・ダンロス症候群       | 1   |
| 119 | アイザックス症候群                      | 0   | 169 | メンケス病              | 0   |
| 120 | 遺伝性ジストニア                       | 0   | 170 | オクシピタル・ホーン症候群      | 0   |
| 121 | 神経フェリチン症                       | 0   | 171 | ウィルソン病             | 1   |
| 122 | 脳表ヘモジデリン沈着症                    | 0   | 172 | 低ホスファターゼ症          | 0   |
| 123 | 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性<br>白質脳症     | 0   | 173 | VATER症候群           | 0   |
| 124 | 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優<br>性脳動脈症    | 0   | 174 | 那須・ハコラ病            | 0   |
| 125 | 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び<br>まん性白質脳症 | 0   | 175 | ウィーバー症候群           | 0   |
| 126 | ペリー症候群                         | 0   | 176 | コフィン・ローリー症候群       | 0   |
| 127 | 前頭側頭葉変性症                       | 0   | 177 | 有馬症候群              | 0   |
| 128 | ピッカーstaff脳幹脳炎                  | 1   | 178 | モワット・ウィルソン症候群      | 0   |
| 129 | 痙攣重積型(二相性)急性脳症                 | 0   | 179 | ウィリアムズ症候群          | 0   |
| 130 | 先天性無痛無汗症                       | 0   | 180 | ATR-X症候群           | 0   |
| 131 | アレキサンダー病                       | 0   | 181 | クルーゾン症候群           | 0   |
| 132 | 先天性核上性球麻痺                      | 0   | 182 | アペール症候群            | 0   |
| 133 | メビウス症候群                        | 0   | 183 | ファイファー症候群          | 0   |
| 134 | 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群            | 0   | 184 | アントレー・ピクスラー症候群     | 0   |
| 135 | アイカルディ症候群                      | 0   | 185 | コフィン・シリズ症候群        | 0   |
| 136 | 片側巨脳症                          | 0   | 186 | ロスムンド・トムソン症候群      | 0   |
| 137 | 限局性皮質異形成                       | 0   | 187 | 歌舞伎症候群             | 0   |
| 138 | 神経細胞移動異常症                      | 0   | 188 | 多脾症候群              | 0   |
| 139 | 先天性大脳白質形成不全症                   | 0   | 189 | 無脾症候群              | 0   |
| 140 | ドラベ症候群                         | 0   | 190 | 鰓耳腎症候群             | 0   |
| 141 | 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん               | 0   | 191 | ウェルナー症候群           | 1   |
| 142 | ミオクロニー欠神てんかん                   | 0   | 192 | コケイン症候群            | 0   |
| 143 | ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん              | 0   | 193 | プラダー・ウィリ症候群        | 0   |
| 144 | レノックス・ガストー症候群                  | 0   | 194 | ソトス症候群             | 0   |
| 145 | ウエスト症候群                        | 0   | 195 | ヌーナン症候群            | 0   |
| 146 | 大田原症候群                         | 0   | 196 | ヤング・シンブソン症候群       | 0   |
| 147 | 早期ミオクロニー脳症                     | 0   | 197 | 1p36欠失症候群          | 0   |
| 148 | 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん               | 0   | 198 | 4p欠失症候群            | 0   |
| 149 | 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群               | 0   | 199 | 5p欠失症候群            | 0   |
| 150 | 環状20番染色体症候群                    | 0   | 200 | 第14番染色体父親性ダイソミー症候群 | 0   |
| 151 | ラスムッセン脳炎                       | 0   | 201 | アンジェルマン症候群         | 0   |
| 152 | PCDH19関連症候群                    | 0   | 202 | スミス・マギニス症候群        | 0   |
| 153 | 難治頻回部分発作重積型急性脳炎                | 0   | 203 | 22q11.2欠失症候群       | 0   |
| 154 | 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん<br>性脳症      | 0   | 204 | エマヌエル症候群           | 0   |
| 155 | ランドウ・クレフナー症候群                  | 0   | 205 | 脆弱X症候群関連疾患         | 0   |
| 156 | レット症候群                         | 0   | 206 | 脆弱X症候群             | 0   |
| 157 | スタージ・ウェーバー症候群                  | 0   | 207 | 総動脈幹遺残症            | 0   |
| 158 | 結節性硬化症                         | 1   | 208 | 修正大血管転位症           | 0   |
| 159 | 色素性乾皮症                         | 0   | 209 | 完全大血管転位症           | 0   |
| 160 | 先天性魚鱗癬                         | 0   | 210 | 単心室症               | 0   |

## 4 指定難病についての診療

| 疾患名 |                              | 患者数 | 疾患名 |                            | 患者数 |
|-----|------------------------------|-----|-----|----------------------------|-----|
| 211 | 左心低形成症候群                     | 0   | 259 | レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症 | 0   |
| 212 | 三尖弁閉鎖症                       | 0   | 260 | シトステロール血症                  | 0   |
| 213 | 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症            | 0   | 261 | タンジール病                     | 0   |
| 214 | 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症              | 0   | 262 | 原発性高カイロミクロン血症              | 0   |
| 215 | ファロー四徴症                      | 0   | 263 | 脳腫黄色腫症                     | 0   |
| 216 | 両大血管右室起始症                    | 0   | 264 | 無βリポタンパク血症                 | 0   |
| 217 | エプスタイン病                      | 0   | 265 | 脂肪萎縮症                      | 0   |
| 218 | アルポート症候群                     | 0   | 266 | 家族性地中海熱                    | 0   |
| 219 | ギャロウェイ・モフト症候群                | 0   | 267 | 高IgD症候群                    | 0   |
| 220 | 急速進行性糸球体腎炎                   | 1   | 268 | 中條・西村症候群                   | 0   |
| 221 | 抗糸球体基底膜腎炎                    | 0   | 269 | 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群    | 0   |
| 222 | 一次性ネフローゼ症候群                  | 1   | 270 | 慢性再発性多発性骨髄炎                | 0   |
| 223 | 一次性膜性増殖性糸球体腎炎                | 0   | 271 | 強直性脊椎炎                     | 5   |
| 224 | 紫斑病性腎炎                       | 0   | 272 | 進行性骨化性線維異形成症               | 1   |
| 225 | 先天性腎性尿崩症                     | 0   | 273 | 肋骨異常を伴う先天性側弯症              | 0   |
| 226 | 間質性膀胱炎(ハンナ型)                 | 0   | 274 | 骨形成不全症                     | 0   |
| 227 | オスラー病                        | 1   | 275 | タナトフォリック骨異形成症              | 0   |
| 228 | 閉塞性細気管支炎                     | 0   | 276 | 軟骨無形成症                     | 1   |
| 229 | 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)            | 0   | 277 | リンパ管腫症/ゴーム病                | 0   |
| 230 | 肺胞低換気症候群                     | 0   | 278 | 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)           | 0   |
| 231 | α1-アンチトリプシン欠乏症               | 0   | 279 | 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)       | 0   |
| 232 | カーニー複合                       | 0   | 280 | 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)        | 0   |
| 233 | ウォルフラム症候群                    | 0   | 281 | クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群       | 0   |
| 234 | ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)   | 0   | 282 | 先天性赤血球形成異常性貧血              | 0   |
| 235 | 副甲状腺機能低下症                    | 0   | 283 | 後天性赤芽球癆                    | 0   |
| 236 | 偽性副甲状腺機能低下症                  | 0   | 284 | ダイヤモンド・ブラックファン貧血           | 0   |
| 237 | 副腎皮質刺激ホルモン不応症                | 0   | 285 | ファンコニ貧血                    | 0   |
| 238 | ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症             | 1   | 286 | 遺伝性鉄芽球性貧血                  | 0   |
| 239 | ビタミンD依存性くる病/骨軟化症             | 0   | 287 | エプスタイン症候群                  | 0   |
| 240 | フェニルケトン尿症                    | 0   | 288 | 自己免疫性出血病XIII               | 0   |
| 241 | 高チロシン血症1型                    | 0   | 289 | クロンカイト・カナダ症候群              | 0   |
| 242 | 高チロシン血症2型                    | 0   | 290 | 非特異性多発性小腸潰瘍症               | 0   |
| 243 | 高チロシン血症3型                    | 0   | 291 | ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)       | 0   |
| 244 | メープルシロップ尿症                   | 0   | 292 | 総排泄腔外反症                    | 0   |
| 245 | プロピオン酸血症                     | 0   | 293 | 総排泄腔遺残                     | 0   |
| 246 | メチルマロン酸血症                    | 0   | 294 | 先天性横隔膜ヘルニア                 | 0   |
| 247 | イソ吉草酸血症                      | 0   | 295 | 乳幼児肝巨大血管腫                  | 0   |
| 248 | グルコーストランスポーター1欠損症            | 0   | 296 | 胆道閉鎖症                      | 1   |
| 249 | グルタル酸血症1型                    | 0   | 297 | アラジール症候群                   | 0   |
| 250 | グルタル酸血症2型                    | 0   | 298 | 遺伝性膝炎                      | 0   |
| 251 | 尿素サイクル異常症                    | 0   | 299 | 嚢胞性線維症                     | 0   |
| 252 | リジン尿性蛋白不耐症                   | 0   | 300 | IgG4関連疾患                   | 3   |
| 253 | 先天性葉酸吸収不全                    | 0   | 301 | 黄斑ジストロフィー                  | 0   |
| 254 | ポルフィリン症                      | 0   | 302 | レーベル遺伝性視神経症                | 0   |
| 255 | 複合カルボキシラーゼ欠損症                | 0   | 303 | アッシャー症候群                   | 0   |
| 256 | 筋型糖原病                        | 0   | 304 | 若年発症型両側性感音難聴               | 0   |
| 257 | 肝型糖原病                        | 0   | 305 | 遅発性内リンパ水腫                  | 0   |
| 258 | ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症 | 0   | 306 | 好酸球性副鼻腔炎                   | 0   |

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

| 施設基準の種類             | 施設基準の種類           |
|---------------------|-------------------|
| ・ 特定機能病院入院基本料       | ・ データ提出加算         |
| ・ 一般病棟 7対1入院基本料     | ・ 退院支援加算          |
| ・ 精神病棟10対1入院基本料     | ・ 精神疾患診療体制加算      |
| ・ 超急性期脳卒中加算         | ・ 地域歯科診療支援病院入院加算  |
| ・ 診療録管理体制加算1        | ・ 特定集中治療室管理料1     |
| ・ 医師事務作業補助体制加算1     | ・ 総合周産期特定集中治療室管理料 |
| ・ 急性期看護補助体制加算       | ・ 小児入院医療管理料2      |
| ・ 看護職員夜間配置加算        | ・ 小児入院医療管理料4      |
| ・ 療養環境加算            | ・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料 |
| ・ 重症者等療養環境特別加算      | ・ 歯科外来診療環境体制加算    |
| ・ 無菌治療室管理加算1        | ・                 |
| ・ 無菌治療室管理加算2        | ・                 |
| ・ 緩和ケア診療加算          | ・                 |
| ・ 精神科身体合併症管理加算      | ・                 |
| ・ 精神科リエゾンチーム加算      | ・                 |
| ・ 摂食障害入院医療管理加算      | ・                 |
| ・ 医療安全対策加算1         | ・                 |
| ・ 感染防止対策加算1         | ・                 |
| ・ 患者サポート体制充実加算      | ・                 |
| ・ ハイリスク妊娠管理加算       | ・                 |
| ・ ハイリスク分娩管理加算       | ・                 |
| ・ 精神科救急搬送患者地域連携受入加算 | ・                 |
| ・ 総合評価加算            | ・                 |
| ・ 呼吸ケアチーム加算         | ・                 |
| ・ 病棟薬剤業務実施加算1       | ・                 |
| ・ 病棟薬剤業務実施加算2       | ・                 |

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類                      | 施設基準の種類                                  |
|------------------------------|--|
| ・ 高度難聴指導管理料 (人工内耳埋込術の届出により可) | ・ 皮下連続式グルコース測定                           |
| ・ 糖尿病合併症管理料                  | ・ 長期継続頭蓋内脳波検査                            |
| ・ がん性疼痛緩和指導管理料               | ・ 神経学的検査                                 |
| ・ がん患者指導管理料                  | ・ 補聴器適合検査                                |
| ・ 外来緩和ケア管理料                  | ・ 内服・点滴誘発試験                              |
| ・ 移植後患者指導管理料                 | ・ センチネルリンパ節生検(片側)                        |
| ・ 糖尿病透析予防指導管理料               | ・ 画像診断管理加算2                              |
| ・ 院内トリアージ実施料                 | ・ ポジトロン断層撮影                              |
| ・ ニコチン依存症指導管理料               | ・ ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影                  |
| ・ がん治療連携計画策定料                | ・ CT撮影及びMRI撮影                            |
| ・ 肝炎インターフェロン治療計画料            | ・ 冠動脈CT撮影加算                              |
| ・ 薬剤管理指導料                    | ・ 心臓MRI撮影加算                              |
| ・ 医療機器安全管理料1                 | ・ 乳房MRI撮影加算                              |
| ・ 医療機器安全管理料2                 | ・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算                           |
| ・ 医療機器安全管理料(歯科)              | ・ 外来化学療法加算1                              |
| ・ 在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料    | ・ 無菌製剤処理料                                |
| ・ 持続血糖測定器加算                  | ・ 心大血管疾患リハビリテーション料(I)                    |
| ・ 遺伝学的検査                     | ・ 脳血管疾患等リハビリテーション料(I)                    |
| ・ HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)        | ・ 運動器リハビリテーション料(I)                       |
| ・ 検体検査管理加算(I)                | ・ 呼吸器リハビリテーション料(I)                       |
| ・ 検体検査管理加算(IV)               | ・ がん患者リハビリテーション                          |
| ・ 国際標準検査管理加算                 | ・ 通院・在宅精神療法                              |
| ・ 遺伝カウンセリング加算                | ・ 認知療法・認知行動療法                            |
| ・ 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算   | ・ 精神作業療法                                 |
| ・ 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト     | ・ 抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。) |
| ・ 胎児心エコー法                    | ・ 医療保護入院管理等診療料                           |
| ・ ヘッドアップティルト試験               | ・ CAD/CAM冠                               |

|   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| ・ 歯科技工加算  | ・ 同種死体肝移植術                        |
| ・ 皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)                                  | ・ 腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術                   |
| ・ 組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)                                    | ・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術                 |
| ・ 骨移植術(軟骨移植術含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))                            | ・ 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術                  |
| ・ 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)  | ・ 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)   |
| ・ 腫瘍脊椎骨全摘術  | ・ 同種死体腎移植術                        |
| ・ 脳腫瘍覚醒下マッピング加算   | ・ 生体腎移植術                          |
| ・ 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術                   | ・ 膀胱水圧拡張術                         |
| ・ 緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))                                       | ・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術                    |
| ・ 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)  | ・ 人工尿道括約筋植込・置換術                   |
| ・ 網膜再建術   | ・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術                   |
| ・ 人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術  | ・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの) |
| ・ 上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。) | ・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)         |
| ・ 乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1及び又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)                 | ・ 胎児胸腔・羊水腔シャント術                   |
| ・ 乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))              | ・ 輸血管理料 I                         |
| ・ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)  | ・ 貯血式自己血輸血管理体制加算                  |
| ・ 肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)                                | ・ 自己生体組織接着剤作成術                    |
| ・ 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)   | ・ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算               |
| ・ 経カテーテル大動脈弁置換術   | ・ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術                  |
| ・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  | ・ 麻酔管理料(I)                        |
| ・ 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術  | ・ 麻酔管理料(II)                       |
| ・ 植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術   | ・ 放射線治療専任加算                       |
| ・ 両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術                        | ・ 外来放射線治療加算                       |
| ・ 大動脈バルーンポンピング法(IABP法)  | ・ 高エネルギー放射線治療                     |
| ・ 補助人工心臓  | ・ 1回線量増加加算                        |
| ・ 植込型補助人工心臓(非拍動流型)  | ・ 強度変調放射線治療(IMRT)                 |
| ・ 胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)                                   | ・ 画像誘導放射線治療加算(IGRT)               |
| ・ 体外衝撃波胆石破碎術  | ・ 定位放射線治療                         |
| ・ 腹腔鏡下肝切除術  | ・ 病理診断管理加算                        |
| ・ 生体部分肝移植術  | ・ クラウン・ブリッジ維持管理料                  |

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類  | 施設基準等の種類 |
|---|----------|
| ・ 実物大臓器立体モデルによる手術計画(頭蓋顎顔面領域の骨変形、欠損若しくは骨折又は骨盤、四肢骨若しくは脊椎の骨格に変形を伴う疾患に係るものに限る。) | ・        |
| ・ 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索  | ・        |
| ・ 腹腔鏡下前立腺摘除術  | ・        |
| ・ 膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)  | ・        |
| ・ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術   | ・        |
| ・ インプラント義歯  | ・        |
| ・ 抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法)   | ・        |
| ・   | ・        |
| ・   | ・        |
| ・   | ・        |
| ・   | ・        |
| ・   | ・        |
| ・   | ・        |
| ・   | ・        |
| ・   | ・        |
| ・   | ・        |
| ・   | ・        |

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況                | 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。<br>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。   |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 脳神経外科・小児科・神経内科:神経生理機能検査部門 月1回<br>血液内科:検体検査部門 月1回, 解剖・病理室 月1回 |
| 剖 検 の 状 況                           | 剖検症例数 19 例 / 剖検率 3.4 %                                       |

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名      | 発表者の所属 | 題名   | 雑誌名                           |       |           |      |
|----|------------|--------|--|-------------------------------|-------|-----------|------|
| 1  | Terakura S | 血液内科   | Cutaneous macrophage infiltration in acute GvHD.   | Bone Marrow Transplant        | 50(8) | 1135-7    | 2015 |
| 2  | Hanajiri R | 血液内科   | Integration of humoral and cellular HLA-specific immune responses in cord blood allograft rejection.   | Bone Marrow Transplant        | 50(9) | 1187-94   | 2015 |
| 3  | Aoki T     | 血液内科   | High-dose chemotherapy followed by autologous stem cell transplantation for relapsed/refractory primary mediastinal large B-cell lymphoma.                           | Blood Cancer J                | 5     | e372      | 2015 |
| 4  | Miyao K    | 血液内科   | Influence of melphalan plus fludarabine- conditioning regimen in elderly patients aged $\geq$ 55 years with hematological malignancies.                              | Bone Marrow Transplant        | 51(1) | 157-60    | 2016 |
| 5  | Terakura S | 血液内科   | Comparison of Outcomes of 8/8 and 7/8 Allele-Matched Unrelated Bone Marrow Transplantation and Single-Unit Cord Blood Transplantation in Adults with Acute Leukemia. | Biol Blood Marrow Transplant. | 22(2) | 330-8     | 2016 |
| 6  | 石井 秀樹      | 循環器内科  | How Can We Improve Prognosis in Patients With Acute Myocardial Infarction? - Lesson From Patients Without Primary Percutaneous Coronary Intervention.                | Circ. J.                      | 79    | 1900-1901 | 2015 |
| 7  | 水谷 泰之      | 消化器内科  | Pyogenic granuloma of the small bowel treated by double-balloon enteroscopy.   | Gastrointest Endosc.          | 81(4) | :1023-4   | 2015 |

|    |                            |       |   |                                |         |           |      |
|----|----------------------------|-------|---|--------------------------------|---------|-----------|------|
| 8  | 石津 洋二                      | 消化器内科 | Endoscopic treatment of esophageal varices in hemophiliac patients with liver cirrhosis.  | Gastrointestinal Endoscopy     | 81(4)   | :1059-60. | 2015 |
| 9  | Tanyaporn Chantarojanasiri | 消化器内科 | Evolution of pancreas in aging: degenerative variation or early changes of disease?   | Journal of Medical Ultrasonics | 42(42)  | 177-183   | 2015 |
| 10 | 大野 栄三郎                     | 消化器内科 | Current status of tissue harmonic imaging in endoscopic ultrasonography (EUS) and EUS-elastography in pancreatobiliary diseases.  | Digestive Endoscopy            | Suppl 1 | 68-73.    | 2015 |
| 11 | 中村 正直                      | 消化器内科 | Submucosal tumor in the small bowel resected by EMR at double-balloon endoscopy   | Gastrointest Endosc.           | 81(4)   | :1024-5   | 2015 |
| 12 | 本多 隆                       | 消化器内科 | Hepatitis B e Antigen and Hepatitis B Surface Antigen Seroclearance with the Emergence of Lamivudine-associated and Core Mutations Following CD4 Elevation in a Patient with Hepatitis B and HIV. | INTERNAL MEDICINE              | 54(6):  | 585-90    | 2015 |
| 13 | 今井 則博                      | 消化器内科 | Hepatocyte-Specific Depletion of UBXD8 Induces Periportal Steatosis in Mice Fed a High-Fat Diet.  | PLoS One.                      | 10(5):  | e0127114  | 2015 |
| 14 | 中野 有泰                      | 消化器内科 | Challenging EMR for the definite diagnosis of submucosal tumor in the small bowel by using double-balloon endoscopy.  | Gastrointest Endosc.           | 81(5)   | 1273-4    | 2015 |
| 15 | 水谷 泰之                      | 消化器内科 | An unusual cause of obscure gastrointestinal bleeding.  | Gastroenterology               | 48(5)   | 908-9     | 2015 |
| 16 | 舘 佳彦                       | 消化器内科 | Predictive Ability of Laboratory Indices for Liver Fibrosis in Patients with Chronic Hepatitis C after the Eradication of Hepatitis C Virus.  | PLOS ONE                       | 10(7)   | e0133515  | 2015 |

|    |       |         |  |                                   |        |              |      |
|----|-------|---------|--|-----------------------------------|--------|--------------|------|
| 17 | 松崎 一平 | 消化器内科   | Forward-viewing versus oblique-viewing echoendoscopes in the diagnosis of upper GI subepithelial lesions with EUS-guided FNA: a prospective, randomized, crossover study.                        | Gastrointest Endosc.              | 82(2)  | 287-95       | 2015 |
| 18 | Luo F | 消化器内科   | Raloxifene Ameliorates Liver Fibrosis of Nonalcoholic Steatohepatitis Induced by Choline-Deficient High-Fat Diet in Ovariectomized Mice.   | Digestive Diseases and Sciences   | 60(9)  | 303396       | 2015 |
| 19 | 葛谷 貞二 | 消化器内科   | Early Clinical Response after 2 Weeks of Sorafenib Therapy Predicts Outcomes and Anti-Tumor Response in Patients with Advanced Hepatocellular Carcinoma.   | PLOS ONE                          | 10(9)  | e013877<br>6 | 2015 |
| 20 | 石上 雅敏 | 消化器内科   | Change of strategies and future perspectives against hepatitis B virus recurrence after liver transplantation.   | World Journal of Gastroenterology | 21(36) | 10290-8      | 2015 |
| 21 | 大林 友彦 | 消化器内科   | Treatment with near-infrared radiation promotes apoptosis in pancreatic cancer cells.  | Oncol Lett.                       | 10(3)  | 1836-1840.   | 2015 |
| 22 | 森瀬 和宏 | 消化器内科   | Clinical utility of a new endoscopic scoring system for Crohn's disease.   | World Journal of Gastroenterology | 42627  | 21(34)       | 2015 |
| 23 | 中村 陽介 | 光学医療診療部 | Investigation of Morphological and Functional Changes in the Small Intestine With Pancreatic Disease.  | Pancreas                          | 44(8)  | 1352-7       | 2015 |
| 24 | 本多 隆  | 消化器内科   | Hepatitis B e Antigen and Hepatitis B Surface Antigen Seroclearance with the Emergence of Lamivudine-associated and Core Mutations Following CD4 Elevation in a Patient with Hepatitis B and HIV | INTERNAL MEDICINE                 | 54(6)  | 585-90       | 2015 |

|    |            |       |   |                              |                     |                       |      |
|----|------------|-------|---|------------------------------|---------------------|-----------------------|------|
| 25 | 阿知波 宏一     | 消化器内科 | DSS colitis promotes tumorigenesis and fibrogenesis in a choline-deficient high-fat diet-induced NASH mouse model.  | Biochem Biophys Res Commun.  | 470(1)              | 15-21                 | 2016 |
| 26 | 杉本 啓之      | 消化器内科 | The prognostic factors and trajectory of HRQOL in patients with pancreatic cancer who received psychiatric intervention.  | J Gastroenterol Hepatol.     | 31(3)               | 685-90                | 2016 |
| 27 | 林 和彦       | 消化器内科 | Clinical characteristics and molecular analysis of hepatitis B virus reactivation in hepatitis B surface antigen-negative patients during or after immunosuppressive or cytotoxic chemotherapy. | J Gastroenterol.             |                     | [Epub ahead of print] | 2016 |
| 28 | 前田 啓子      | 消化器内科 | Identification of Mefflin as a Potential Marker for Mesenchymal Stromal Cells.  | Sci Rep.                     | 6                   | 22288                 | 2016 |
| 29 | 平山 裕       | 消化器内科 | Characteristic endoscopic findings and risk factors for cytomegalovirus-associated colitis in patients with active ulcerative colitis.  | World J Gastrointest Endosc. | 8(6)                | 301-9                 | 2016 |
| 30 | 森島 大雅      | 消化器内科 | Prospective multicenter study on the usefulness of EUS-guided FNA biopsy for the diagnosis of autoimmune pancreatitis.  | .Gastrointest Endosc.        | pii: S0016-5107(16) | 00039-0.              | 2016 |
| 31 | Omote N    | 呼吸器内科 | Lung-Dominant Connective Tissue Disease Clinical, Radiologic, and Histologic Features   | CHEST                        | 148                 | 1438-46               | 2015 |
| 32 | Kusunose M | 呼吸器内科 | Direct regulation of transforming growth factor $\beta$ -induced epithelial-mesenchymal transition by the protein phosphatase activity of unphosphorylated PTEN in lung cancer cells.           | Cancer Sci.                  | 106                 | 1693-704              | 2015 |

|    |             |           |  |                               |        |          |      |
|----|-------------|-----------|--|-------------------------------|--------|----------|------|
| 33 | Shindo Y    | 呼吸器内科     | Risk factors for 30-day mortality in patients with pneumonia who receive appropriate initial antibiotics: an observational cohort study. | Lancet Infect Dis             | 15     | 1055-65  | 2015 |
| 34 | Yamashita R | 呼吸器内科     | Growth inhibitory effects of miR-221 and miR-222 in non-small cell lung cancer cells.  | Cancer Med.                   | 4      | 551-64   | 2015 |
| 35 | 岩間信太郎       | 糖尿病・内分泌内科 | Rabphilin-3A as a targeted autoantigen in lymphocytic infundibulo-neurohypophysitis.   | J Clin Endocrinol Metab       | 100(7) | E946-954 | 2015 |
| 36 | 加藤 佐和子      | 腎臓内科      | Anti-albuminuric effects of spironolactone in patients with type 2 diabetic nephropathy: a multicenter, randomized clinical trial.       | Clin Exp Nephrol              | 19(6)  | 1098-106 | 2015 |
| 37 | 加藤 佐和子      | 腎臓内科      | Neutrophil/lymphocyte ratio: A promising prognostic marker in patients with chronic kidney disease.                                      | Inflammation & Cell Signaling | 2      | e683     | 2015 |
| 38 | 永田 高信       | 腎臓内科      | Clinical impact of kidney function on presepsin levels.  | PLoS One                      | 10(6)  | e0129159 | 2015 |
| 39 | 柴田 佳奈子      | 腎臓内科      | Renal function evaluation in patients with cancer who were scheduled to receive carboplatin or S-1.                                      | Clin Exp Nephrol              | 19(6)  | 1107-13  | 2015 |
| 40 | 前田 佳哉輔      | 腎臓内科      | CD147/Basigin limits lupus nephritis and TH 17 cell differentiation by inhibiting the IL-6/STAT3 pathway.                                | Arthritis Rheum               | 67(8)  | 2185-95  | 2015 |
| 41 | 小杉 智規       | 腎臓内科      | CD147 (EMMPRIN/Basigin) in kidney diseases: from an inflammation and immune system viewpoint.  | Nephrol Dial Transplant       | 30(7)  | 1097-103 | 2015 |

|    |            |      |   |                  |        |         |      |
|----|------------|------|---|------------------|--------|---------|------|
| 42 | 寺林 武       | 腎臓内科 | Vascular endothelial growth factor receptor-3 is a novel target to improve net ultrafiltration in methylglyoxal-induced peritoneal injury.                      | Lab Invest       | 95(9)  | 1029-43 | 2015 |
| 43 | 佐藤 由香      | 腎臓内科 | Midkine Regulates BP through Cytochrome P450-Derived Eicosanoids.   | J Am Soc Nephrol | 26(8)  | 1806-15 | 2015 |
| 44 | 秋山 真一      | 腎臓内科 | Prevalence of anti-phospholipase A2 receptor antibodies in Japanese patients with membranous nephropathy.   | Clin Exp Nephrol | 19(4)  | 653-60  | 2015 |
| 45 | 水野 正司      | 腎臓内科 | Rat Models of Acute and/or Chronic Peritoneal Injuries Including Peritoneal Fibrosis and Peritoneal Dialysis Complications.                                     | Methods Mol Biol | 1397   | 35-43   | 2016 |
| 46 | 水野 正司      | 腎臓内科 | Recent analysis of status and outcome of peritoneal dialysis in the Tokai area of Japan: the second report of the Tokai peritoneal dialysis registry.           | Clin Exp Nephrol | Epub   |         | 2016 |
| 47 | Sugimoto M | 血管外科 | The fate of ischemic limbs in patients with Buerger's disease based on our 30-year experience: does smoking have a definitive impact on the late loss of limbs? | Surg Today       | 45(4)  | 466-70  | 2015 |
| 48 | Sugimoto M | 血管外科 | Pre- and Intraoperative Predictors of Delirium after Open Abdominal Aortic Aneurysm Repair  | Ann Vasc Dis     | 8(3)   | 215-9   | 2015 |
| 49 | Kamei H    | 移植外科 | Considerable Risk of Restenosis After Endoscopic Treatment for Hepaticojejunostomy Stricture After Living-Donor Liver Transplantation.                          | Transplant Proc. | 47 (8) | 2493-8  | 2015 |

|    |                    |        |   |  |        |         |      |
|----|--------------------|--------|---|--|--------|---------|------|
| 50 | Imai H             | 移植外科   | Successful Living-Donor Liver Transplantation for Cholestatic Liver Failure Induced by Allopurinol: Case Report.  | Transplant Proc.                             | 47 (9) | 2778-81 | 2015 |
| 51 | Kamei H            | 移植外科   | Cytomegalovirus (CMV) Monitoring After Liver Transplantation: Comparison of CMV Pp65 Antigenemia Assay with Real-Time PCR Calibrated to WHO International Standard. | Ann Transplant.                              | 1 (21) | 131-6   | 2016 |
| 52 | Igami Tsuyoshi     | 消化器外科一 | Clinical value and pitfalls of fluorescent cholangiography during single-incision laparoscopic cholecystectomy  | Surgery today                                | Online |         | 2016 |
| 53 | Uno Masanori       | 消化器外科一 | Alpha-Bisabolol Inhibits Invasiveness and Motility in Pancreatic Cancer Through KISS1R Activation   | Anticancer Reserch                           | 36(2)  | 583~9   | 2016 |
| 54 | Tsukahara Tetsuo   | 消化器外科一 | Cholangiocarcinoma with intraductal tubular growth pattern versus intraductal papillary growth pattern  | Modern Pathology                             | 29(3)  | 293-301 | 2016 |
| 55 | Yamaguchi Takayuki | 消化器外科一 | Verification of WFA-Sialylated MUC1 as a Sensitive Biliary Biomarker for Human Biliary Tract Cancer   | Annals of Surgical Oncology                  | 23(2)  | 671-7   | 2016 |
| 56 | Hirose Tomoaki     | 消化器外科一 | Surgical and Radiological Studies on the Length of the Hepatic Ducts  | World Journal of Surgery                     | 39(12) | 2983~9  | 2015 |
| 57 | Misuno Takashi     | 消化器外科一 | Percutaneous transhepatic portal vein stenting for malignant portal vein stenosis secondary to recurrent perihilar biliary cancer                                   | Journal of hepato-biliary pancreatic science | 22(10) | 740~5   | 2015 |

|    |                   |        |  |   |       |           |      |
|----|-------------------|--------|--|---|-------|-----------|------|
| 58 | Miwa Tomohiro     | 消化器外科一 | Therapeutic potential of targeting protein for Xklp2 silencing for pancreatic cancer.  | Cancer Medicine                             | 4(7)  | 1091-1100 | 2015 |
| 59 | Uehara Keisuke    | 消化器外科一 | Initial experience of laparoscopic pelvic exenteration and comparison with conventional open surgery.  | Surgical Endoscopy                          | 30(1) | 132-8     | 2016 |
| 60 | Yamaguchi Naoya   | 消化器外科一 | Intermittent Pringle maneuver is unlikely to induce bacterial translocation to the portal vein: a study using bacterium-specific ribosomal RNA-targeted reverse transcription-polymerase chain reaction. | Journal of hepatobiliary pancreatic science | 22(6) | 491-7     | 2015 |
| 61 | Watanabe Hiroyuki | 消化器外科一 | Prognostic Value of Hepatocyte Growth Factor Receptor Expression in Patients with Perihilar Cholangiocarcinoma.  | Annals of Surgical Oncology                 | 22(7) | 2235-41   | 2015 |
| 62 | Mizutani Tetsushi | 消化器外科一 | Does inchinkoto, a herbal medicine, have hepatoprotective effects in major hepatectomy? A prospective randomized study.  | HPB(Oxford)                                 | 17(5) | 461-9     | 2015 |
| 63 | 神田光郎              | 消化器外科二 | Prognostic impact of expression and methylation status of DENN/MADD domain-containing protein 2D in gastric cancer.  | Gastric Cancer                              | 18(2) | 288-296   | 2015 |
| 64 | 栗本景介              | 消化器外科二 | A feasibility study of postoperative chemotherapy with S-1 and cisplatin (CDDP) for stage III/IV gastric cancer (CCOG 1106).   | Gastric Cancer                              | 18(2) | 354-359   | 2015 |

|    |           |        |  |  |        |           |      |
|----|-----------|--------|--|--|--------|-----------|------|
| 65 | Wu Zhiwen | 消化器外科二 | Combination therapy of oncolytic herpes simplex virus HF10 and bevacizumab against experimental model of human breast carcinoma xenograft.                               | <b>International Journal of Cancer</b>   | 136(7) | 1718-1730 | 2015 |
| 66 | 藤井努       | 消化器外科二 | Preoperative Internal Biliary Drainage Increases the Risk of Bile Juice Infection and Pancreatic Fistula After Pancreatoduodenectomy: A Prospective Observational Study. | <b>Pancreas</b>                          | 44(3)  | 465-470   | 2015 |
| 67 | 藤井努       | 消化器外科二 | Vein resections >3 cm during pancreatectomy are associated with poor 1-year patency rates.   | <b>Surgery</b>                           | 157(4) | 708-715   | 2015 |
| 68 | 藤井努       | 消化器外科二 | Excess Weight Adversely Influences Treatment Length of Postoperative Pancreatic Fistula: A Retrospective Study of 900 Patients.  | <b>Pancreas</b>                          | 44(6)  | 971-976   | 2015 |
| 69 | 神田光郎      | 消化器外科二 | Diversity of Clinical Implication of B-Cell Translocation Gene 1 Expression by Histopathologic and Anatomic Subtypes of Gastric Cancer.                                  | <b>Digestive Diseases and Sciences</b>   | 60(5)  | 1256-1264 | 2015 |
| 70 | 高野奈緒      | 消化器外科二 | CCNJ detected by triple combination array analysis as a tumor-related gene of hepatocellular carcinoma.  | <b>International journal of oncology</b> | 46(5)  | 1963-1970 | 2015 |
| 71 | 山田豪       | 消化器外科二 | SMAD4 expression predicts local spread and treatment failure in resected pancreatic cancer.  | <b>Pancreas</b>                          | 44(4)  | 660-664   | 2015 |

|    |       |        |   |  |             |           |      |
|----|-------|--------|---|--|-------------|-----------|------|
| 72 | 藪崎紀充  | 消化器外科二 | A vascular endothelial growth factor gene polymorphism predicts malignant potential in intraductal papillary mucinous neoplasm.   | <b>Pancreas</b>                          | 44(4)       | 608-614   | 2015 |
| 73 | 田中友理  | 消化器外科二 | Translational implication of Kallmann syndrome-1 gene expression in hepatocellular carcinoma.   | <b>International Journal of Oncology</b> | 46(6)       | 2546-2554 | 2015 |
| 74 | 江坂和大  | 消化器外科二 | Reduced Expression of Adherens Junctions Associated Protein 1 Predicts Recurrence of Hepatocellular Carcinoma After Curative Hepatectomy.   | <b>Annals of Surgical Oncology</b>       | 22(suppl 3) | 1944-1507 | 2015 |
| 75 | 服部正嗣  | 消化器外科二 | Significance of the Splenic Vein and Its Branches in Pancreatoduodenectomy with Resection of the Portal Vein System.  | <b>Digestive Surgery</b>                 | 32(5)       | 382-388   | 2015 |
| 76 | 小林大介  | 消化器外科二 | Factors related to occurrence and aggravation of pancreatic fistula after radical gastrectomy for gastric cancer.   | <b>Journal of Surgical Oncology</b>      | 112(4)      | 381-386   | 2015 |
| 77 | 藤井努   | 消化器外科二 | Inverse Probability of Treatment Weighting Analysis of Upfront Surgery Versus Neoadjuvant Chemoradiotherapy Followed by Surgery for Pancreatic Adenocarcinoma with Arterial Abutment. | <b>Medicine (Baltimore)</b>              | 94(39)      | e1647     | 2015 |
| 78 | 丹羽由紀子 | 消化器外科二 | Salvage pharyngolaryngectomy with total esophagectomy following definitive chemoradiotherapy.   | <b>Diseases of the Esophagus</b>         | in press    | in press  | 2015 |

|    |      |        |   |  |        |           |      |
|----|------|--------|---|--|--------|-----------|------|
| 79 | 藤井努  | 消化器外科二 | Influence of Food Intake on the Healing Process of Postoperative Pancreatic Fistula After Pancreatoduodenectomy: A Multi-institutional Randomized Controlled Trial.                   | <b>Annals of Surgical Oncology</b>       | 22(12) | 3905-3912 | 2015 |
| 80 | 服部憲史 | 消化器外科二 | Effectiveness of plasma treatment on pancreatic cancer cells.   | <b>International journal of oncology</b> | 47(5)  | 1655-1662 | 2015 |
| 81 | 田中晴祥 | 消化器外科二 | Adherens junctions associated protein 1 serves as a predictor of recurrence of squamous cell carcinoma of the esophagus.  | <b>International journal of oncology</b> | 47(5)  | 1811-1818 | 2015 |
| 82 | 神田光郎 | 消化器外科二 | Postoperative adjuvant chemotherapy with S-1 alters recurrence patterns and prognostic factors among patients with stage II/III gastric cancer: A propensity score matching analysis. | <b>Surgery</b>                           | 158(6) | 1573-1580 | 2015 |
| 83 | 藤井努  | 消化器外科二 | Oral Food Intake Versus Fasting on Postoperative Pancreatic Fistula After Distal Pancreatectomy: A Multi-Institutional Randomized Controlled Trial.                                   | <b>Medicine (Baltimore)</b>              | 94(52) | e2398     | 2015 |
| 84 | 神田光郎 | 消化器外科二 | Adverse prognostic impact of perioperative allogeneic transfusion on patients with stage II/III gastric cancer.   | <b>Gastric Cancer</b>                    | 19(1)  | 255-263   | 2016 |
| 85 | 水野亮  | 消化器外科二 | Adverse Effects of Intraoperative Blood Loss on Long-Term Outcomes after Curative Gastrectomy of Patients with Stage II/III Gastric Cancer.   | <b>Digestive Surgery</b>                 | 33(2)  | 121-128   | 2016 |

|    |       |        |   |                                     |          |          |      |
|----|-------|--------|---|-------------------------------------|----------|----------|------|
| 86 | 丹羽由紀子 | 消化器外科二 | Combination of continuous paravertebral block and epidural anesthesia in postoperative pain control after esophagectomy   | Esophagus                           | 13(1)    | 42-47    | 2016 |
| 87 | 神田光郎  | 消化器外科二 | The Expression of Melanoma-Associated Antigen D2 Both in Surgically Resected and Serum Samples Serves as Clinically Relevant Biomarker of Gastric Cancer Progression. | Annals of Surgical Oncology         | 23(S2)   | 214-221  | 2016 |
| 88 | 神田光郎  | 消化器外科二 | Function and diagnostic value of Anosmin-1 in gastric cancer progression.   | International Journal of Cancer     | 38(3)    | 721-730  | 2016 |
| 89 | 丹羽由紀子 | 消化器外科二 | The Prognostic Relevance of Subcarinal Lymph Node Dissection in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.   | Annals of surgical oncology         | 23(2)    | 611-618  | 2016 |
| 90 | 山田豪   | 消化器外科二 | Preoperative Identification of a Prognostic Factor for Pancreatic Neuroendocrine Tumors Using Multiphase Contrast-Enhanced Computed Tomography.                       | Pancreas                            | 45(2)    | 198-203  | 2016 |
| 91 | 藤井努   | 消化器外科二 | Modified Blumgart Suturing Technique for Remnant Closure After Distal Pancreatectomy: a Propensity Score-Matched Analysis.  | Journal of Gastrointestinal Surgery | 20(2)    | 374-384  | 2016 |
| 92 | 丹羽由紀子 | 消化器外科二 | Short-term outcomes after conventional transthoracic esophagectomy.   | Nagoya Journal of Medical Science   | 78(1)    | 69-78    | 2016 |
| 93 | 神田光郎  | 消化器外科二 | Predictive value of drain amylase content for peripancreatic inflammatory fluid collections after laparoscopic (assisted) distal gastrectomy.                         | Surgical Endoscopy                  | in press | in press | 2016 |

|     |           |        |   |                    |          |           |      |
|-----|-----------|--------|---|--------------------|----------|-----------|------|
| 94  | 神田光郎      | 消化器外科二 | Metastatic pathway-specific transcriptome analysis identifies MFSD4 as a putative tumor suppressor and biomarker for hepatic metastasis in patients with gastric cancer.  | Oncotarget         | 7(12)    | 13667-79  | 2016 |
| 95  | 小寺泰弘      | 消化器外科二 | Feasibility of weekly intraperitoneal versus intravenous paclitaxel therapy delivered from the day of radical surgery for gastric cancer: a preliminary safety analysis of the INPACT study, a randomized controlled trial. | Gastric Cancer     | in press | in press  | 2016 |
| 96  | 山田豪       | 消化器外科二 | Comparison of the international consensus guidelines for predicting malignancy in intraductal papillary mucinous neoplasms.   | Surgery            | 159(3)   | 878-884   | 2016 |
| 97  | 林直美       | 消化器外科二 | Low skeletal muscle density is associated with poor survival in patients who receive chemotherapy for metastatic gastric cancer.  | Oncology Reports   | 35(7)    | 1727-31   | 2016 |
| 98  | 清水大       | 消化器外科二 | NRAGE promotes the malignant phenotype of hepatocellular carcinoma.   | Oncology Letters   | 11(3)    | 1847-1854 | 2016 |
| 99  | Nishida Y | 整形外科   | Surgical treatment for fibrous dysplasia of femoral neck with mild but prolonged symptoms: a case series.   | J Orthop Surg Res. | 10       | 63        | 2015 |
| 100 | Ota T     | 整形外科   | Expression of colony-stimulating factor 1 is associated with occurrence of osteochondral change in pigmented villonodular synovitis.  | Tumour Biol.       | 36·7     | 5361-7    | 2015 |

|     |              |      |  |   |        |                    |      |
|-----|--------------|------|--|---|--------|--------------------|------|
| 101 | Yoshioka Y   | 整形外科 | Inhibition of hyaluronan synthesis alters sulfated glycosaminoglycans deposition during chondrogenic differentiation in ATDC5 cells.   | Histochem Cell Biol.                                | 144•2  | 167-77             | 2015 |
| 102 | Nishida Y    | 整形外科 | Low-dose chemotherapy with methotrexate and vinblastine for patients with desmoid tumors: relationship to CTNNB1 mutation status.      | Int J Clin Oncol.                                   | 20•6   | 1211-7             | 2015 |
| 103 | Nishida Y    | 整形外科 | Post-operative pulmonary and shoulder function after sternal reconstruction for patients with chest wall sarcomas.                     | Int J Clin Oncol.                                   | 20•6   | 1218-25            | 2015 |
| 104 | Kozawa E     | 整形外科 | Increased expression and activation of cathepsin K in human osteoarthritic cartilage and synovial tissues.                             | J Orthop Res.                                       | 34•1   | 127-34             | 2016 |
| 105 | Hamada S     | 整形外科 | Characteristics of cultured desmoid cells with different CTNNB1 mutation status.   | Cancer Med.   | 5•2    | 352-60             | 2016 |
| 106 | Hasegawa S   | 整形外科 | Tranilast stimulates endochondral ossification by upregulating SOX9 and RUNX2 promoters.   | Biochemical and Biophysical Research Communications | 470(2) | 356-361            | 2016 |
| 107 | Matsushita M | 整形外科 | Low bone mineral density in achondroplasia and hypochondroplasia.  | Pediatrics International                            | Epub   | 10.1111/ped.12890. | 2015 |
| 108 | Mishima K    | 整形外科 | Prediction of Clinically Significant Leg-Length Discrepancy in Congenital Disorders.   | Orthopedics   | 38(10) | 919-924            | 2015 |
| 109 | Mishima K    | 整形外科 | Lansoprazole Upregulates Polyubiquitination of the TNF Receptor-Associated Factor 6 and Facilitates Runx2-mediated Osteoblastogenesis. | EBioMedicine  | 2(12)  | 2046-2061          | 2015 |

|     |             |      |  |                                     |        |           |      |
|-----|-------------|------|--|-------------------------------------|--------|-----------|------|
| 110 | Kojima T    | 整形外科 | Predictive factors for achieving low disease activity at 52 weeks after switching from tumor necrosis factor inhibitors to abatacept: results from a multicenter observational cohort study of Japanese patients.          | Clinical Rheumatology               | 35(1)  | 219—225   | 2016 |
| 111 | Asai S      | 整形外科 | Concomitant Methotrexate Protects Against Total Knee Arthroplasty in Patients with Rheumatoid Arthritis Treated with Tumor Necrosis Factor Inhibitors.   | The Journal of Rheumatology         | 42(12) | 2255—2260 | 2015 |
| 112 | Takahashi N | 整形外科 | Longterm efficacy and safety of abatacept in patients with rheumatoid arthritis treated in routine clinical practice: effect of concomitant methotrexate after 24 weeks.   | The Journal of Rheumatology         | 42(5)  | 786—793   | 2015 |
| 113 | Takahashi N | 整形外科 | Concomitant methotrexate and tacrolimus augment the clinical response to abatacept in patients with rheumatoid arthritis with a prior history of biological DMARD use.   | Rheumatology International          | 35(10) | 1707—1716 | 2015 |
| 114 | Asai S      | 整形外科 | Effects of Concomitant Methotrexate on Large Joint Replacement in Patients With Rheumatoid Arthritis Treated With Tumor Necrosis Factor Inhibitors: A Multicenter Retrospective Cohort Study in Japan.                     | Arthritis Care & Research (Hoboken) | 67(10) | 1363—1370 | 2015 |
| 115 | Takahashi N | 整形外科 | Use of a 12-week observational period for predicting low disease activity at 52 weeks in RA patients treated with abatacept: a retrospective observational study based on data from a Japanese multicentre registry study. | Rheumatology (Oxford)               | 54(5)  | 854—859   | 2015 |

|     |           |      |  |                                   |           |             |      |
|-----|-----------|------|--|-----------------------------------|-----------|-------------|------|
| 116 | Wakao N   | 整形外科 | Risks for Vascular Injury During Anterior Cervical Spine Surgery: Prevalence of a Medial Loop of Vertebral Artery and Internal Carotid Artery. | Spine                             | 41(4)     | 293-8       | 2016 |
| 117 | Tauchi R  | 整形外科 | Reliability analysis of Cobb angle measurements of congenital scoliosis using X-ray and 3D-CT images.  | Eur J Orthop Surg Traumatol. 2016 | 26(1)     | 53-7        | 2016 |
| 118 | Imai K    | 産婦人科 | Neuroprotective potential of molecular hydrogen against perinatal brain injury via suppression of activated microglia.                         | Free Radic Biol Med.              | 91        | 154 - 163   | 2016 |
| 119 | Nakano T  | 産婦人科 | Maternal molecular hydrogen administration on lipopolysaccharide-induced mouse fetal brain injury.   | J Clin Biochem Nutr.              | 57(3)     | 15 - 90     | 2015 |
| 120 | Tsuda H   | 産婦人科 | Efficacy and safety of daikenchuto (TJ-100) in pregnant women with constipation.   | Taiwan J Obstet Gynecol.          | 55(1)     | 26 - 29     | 2015 |
| 121 | Tsuda H   | 産婦人科 | Risk assessment for neonatal RDS/TTN using gestational age and the amniotic lamellar body count in twin pregnancies.                           | Clin Chim Acta                    | 451 Pt(B) | 301 - 304   | 2015 |
| 122 | Wang J    | 産婦人科 | Is the serum l-arginine level during early pregnancy a predictor of pregnancy-induced hypertension?  | J Clin Biochem Nutr.              | 57(1)     | 74 - 81     | 2015 |
| 123 | Hattori Y | 産婦人科 | Maternal molecular hydrogen treatment attenuates lipopolysaccharide-induced rat fetal lung injury.   | Free Radic Res.                   | 49(8)     | 1026 - 1037 | 2015 |

|     |             |               |   |                             |        |         |      |
|-----|-------------|---------------|---|-----------------------------|--------|---------|------|
| 124 | Yamada E    | 産婦人科          | Identification of a naturally processed HLA-Cw7-binding peptide that cross-reacts with HLA-A24-restricted ovarian cancer-specific CTLs.             | Tissue Antigens             | 86(3)  | 167-71  | 2015 |
| 125 | Utsumi F    | 産婦人科          | Opioid needs of terminally ill patients with gynecologic malignancies.  | Int J Clin Oncol            | 20(2)  | 405-10  | 2015 |
| 126 | Adachi M    | 産婦人科          | The prognostic impact of pulmonary metastasectomy in recurrent gynecologic cancers: a retrospective single-institution study.                       | Nagoya J Med Sci            | 77(3)  | 363-72  | 2015 |
| 127 | Mizuno M    | 産婦人科          | Prognostic value of histological type in stage IV ovarian carcinoma: a retrospective analysis of 223 patients.                                      | Br J Cancer                 | 112(8) | 1376-83 | 2015 |
| 128 | T. Nakamura | 総合周産期母子医療センター | CYP51A1 induced by growth differentiation factor 9 and follicle-stimulating hormone in granulosa cells is a possible predictor for unfertilization. | Reproductive Science        | 22(3)  | 377-84  | 2015 |
| 129 | A. Iwase    | 総合周産期母子医療センター | Anti-Müllerian hormone and assessment of ovarian reserve after ovarian toxic treatment: a systematic narrative review.                              | Reproductive Science        | 22(5)  | 519-26  | 2015 |
| 130 | N. Shiomi   | 産婦人科          | Regulation of secondary follicle growth by theca cells and insulin-like growth factor 1.  | J. Reproductive Development | 61(3)  | 161-8   | 2015 |
| 131 | K. Komatsu  | 産婦人科          | Analysis of the Effect of Leukemia Inhibitory Factor on Follicular Growth in Cultured Murine Ovarian Tissue.  | Biology of Reproductin      | 93(1)  | 18      | 2015 |
| 132 | M. Mori     | 産婦人科          | Ovarian endometriosis-associated stromal cells reveal persistently high affinity for iron.  | Redox Biology               | Dec;6  | 578-86  | 2015 |

|     |             |               |  |                             |        |  |      |
|-----|-------------|---------------|--|-----------------------------|--------|--|------|
| 133 | A. Iwase    | 総合周産期母子医療センター | Anti-Müllerian hormone levels after laparoscopic cystectomy for endometriomas as a possible predictor for pregnancy in infertility treatments. | Gynecological Endocrinology | 32(4)  | 293-7  | 2016 |
| 134 | C. Ishida   | 産婦人科          | Serum pentraxin 3 as a possible marker for mature cystic teratomas.  | Gynecological Endocrinology | Mar;10 | 1-4  | 2016 |
| 135 | Kobayashi M | 眼科            | Association between photoreceptor regeneration and visual acuity following surgery for rhegmatogenous retinal detachment.                      | Invest Ophthalmol Vis Sci.  | 57(3)  | 889-98.<br>doi:<br>10.1167<br>/iovs.15<br>-18403.                  | 2016 |
| 136 | Nakanishi A | 眼科            | Pathologic changes of cone photoreceptors in eyes with occult macular dystrophy.   | Invest Ophthalmol Vis Sci.  | 56(12) | 7243-9.<br>doi:<br>10.1167<br>/iovs.15<br>-16742.                  | 2015 |
| 137 | Kaneko H    | 眼科            | Surgical videos with synchronised vertical 2-split screens recording the surgeons' hand movement.  | Ophthalmologica.            | 234(4) | 243-6.<br>doi:10.1<br>159/000<br>439119.                           | 2015 |
| 138 | Yasuda S    | 眼科            | Flicker electroretinograms before and after intravitreal ranibizumab injection in eyes with central retinal vein occlusion.                    | Acta Ophthalmol.            | 93(6)  | e465-8.<br>doi:<br>10.1111<br>/aos.12<br>674.                      | 2015 |
| 139 | Iwase T     | 眼科            | Differences of retinal blood flow between arteries and veins determined by laser speckle flowgraphy in healthy subjects.                       | Medicine (Baltimore).       | 94(33) | e1256.<br>doi:<br>10.1097<br>/MD.000<br>0000000<br>001256.         | 2015 |
| 140 | Ueno S      | 眼科            | Near-infrared reflectance imaging in eyes with acute zonal occult outer retinopathy.   | Retina.                     | 35(8)  | 1521-<br>30. doi:<br>10.1097<br>/IAE.00<br>0000000<br>0000502<br>. | 2015 |

|     |           |     |   |                        |         |   |      |
|-----|-----------|-----|---|------------------------|---------|---|------|
| 141 | Yasuda. S | 眼科  | Significant correlation between retinal venous tortuosity and aqueous vascular endothelial growth factor concentration in eyes with central retinal vein occlusion.                               | PLoS One.              | 10(7)   | e0134267. doi:10.1371/journal.pone.0134267. | 2015 |
| 142 | Kataoka K | 眼科  | Macrophage- and RIP3-dependent inflammasome activation exacerbates retinal detachment-induced photoreceptor cell death.   | Cell Death Dis.        | 6       | e1731. doi:10.1038/cddis.2015.73.           | 2015 |
| 143 | 川島 希      | 小児科 | Fulminant adenovirus hepatitis after hematopoietic stem cell transplant: Retrospective real-time PCR analysis for adenovirus DNA in two cases.  | J Infect Chemother     | 21(12)  | 857-63                                      | 2016 |
| 144 | 成田 敦      | 小児科 | Paroxysmal nocturnal hemoglobinuria and telomere length predicts response to immunosuppressive therapy in pediatric aplastic anemia.  | Haematologica          | 100(12) | 1546-52                                     | 2015 |
| 145 | 濱 麻人      | 小児科 | Comparison of long-term outcomes between children with aplastic anemia and refractory cytopenia of childhood who received immunosuppressive therapy with antithymocyte globulin and cyclosporine. | Haematologica          | 100(11) | 1426-33                                     | 2015 |
| 146 | 片岡 伸介     | 小児科 | Extrapulmonary tuberculosis mimicking Mendelian susceptibility to mycobacterial disease in a patient with signal transducer and activator of transcription 1 (STAT1) gain-of-function mutation.   | J Allergy Clin Immunol | 137(2)  | 619-622                                     | 2016 |
| 147 | 川田 潤一     | 小児科 | Viral load in children with congenital cytomegalovirus infection identified on newborn hearing screening.   | J Clin Virol           | 65(1)   | 41-45                                       | 2015 |

|     |             |     |   |                              |        |           |      |
|-----|-------------|-----|---|------------------------------|--------|-----------|------|
| 148 | 神谷 泰子       | 小児科 | Serum microRNAs as potential biomarkers of juvenile idiopathic arthritis  | Clin Rheumatol               | 34(10) | 1705-12   | 2015 |
| 149 | 鈴木 道雄       | 小児科 | The heat shock protein 90 inhibitor BIIB021 suppresses the growth of T and natural killer cell lymphomas  | Front Microbiol              | 6(4)   | 280       | 2015 |
| 150 | 伊藤 嘉規       | 小児科 | Diagnostic values for the viral load in peripheral blood mononuclear cells of patients with chronic active Epstein-Barr virus disease.                            | J Infect Chemother           | 22(4)  | 268-71    | 2016 |
| 151 | Takeichi T  | 皮膚科 | Progressive hyperpigmentation in a Taiwanese child due to an inborn error of vitamin B12 metabolism (cblJ).   | Br J Dermatol                | 172(4) | 1111-1115 | 2015 |
| 152 | Shibata A   | 皮膚科 | TRPS1 haploinsufficiency results in increased STAT3 and SOX9 mRNA expression in hair follicles in trichorhinophalangeal syndrome.                                 | Acta Dermato-Venereol        | 95(5)  | 620-621   | 2015 |
| 153 | Takeichi T  | 皮膚科 | Whole-exome sequencing diagnosis of two autosomal recessive disorders in one family.  | Br J Dermatol                | 172(5) | 1407-1411 | 2015 |
| 154 | Yokota K    | 皮膚科 | Lymphatic flow is mostly preserved after sentinel lymph node biopsy in primary cutaneous malignant melanoma.  | J Dermatol Sci               | 78(2)  | 101-107   | 2015 |
| 155 | Tanahashi K | 皮膚科 | Disappearance of circulating autoantibodies to RNA polymerase III in a patient with systemic sclerosis successfully treated with corticosteroid and methotrexate. | J Eur Acad Dermatol Venereol | 29 (7) | 1453-1454 | 2015 |

|     |             |     |  |                              |         |           |      |
|-----|-------------|-----|--|------------------------------|---------|-----------|------|
| 156 | Sugiura K   | 皮膚科 | The novel GJB3 mutation p.Thr202Asn in the M4 transmembrane domain underlies erythrokeratoderma variabilis.  | Br J Dermatol                | 173 (1) | 309–311   | 2015 |
| 157 | Sugiura K   | 皮膚科 | Successful treatment with infliximab of sibling cases with generalized pustular psoriasis caused by deficiency of interleukin-36 receptor antagonist.  | J Eur Acad Dermatol Venereol | 29 (10) | 2054–2056 | 2015 |
| 158 | Sugiura K   | 皮膚科 | Lamellar ichthyosis caused by a previously unreported homozygous ALOXE3 mutation in East Asia.   | Acta Dermato-Venereol        | 95 (7)  | 858–859   | 2015 |
| 159 | Kono M      | 皮膚科 | Dowling-Degos disease with mutations in POFUT1 is clinico-pathologically distinct from reticulate acropigmentation of Kitamura.                        | Br J Dermatol                | 173 (2) | 584–586   | 2015 |
| 160 | Ogawa M     | 皮膚科 | Magnetic resonance imaging findings are useful for evaluating the three dimensional development and follow-up of linear lupus erythematosus profundus. | Lupus                        | 24 (11) | 1214–1216 | 2015 |
| 161 | Tanahashi K | 皮膚科 | Topical minoxidil improves congenital hypotrichosis caused by LIPH mutations.  | Br J Dermatol                | 173 (3) | 865–866   | 2015 |
| 162 | Muro Y      | 皮膚科 | What are the “true” pathogenic anti-desmoglein antibodies?   | Acta Dermato-Venereol        | 95 (7)  | 872–873   | 2015 |
| 163 | Muro Y      | 皮膚科 | High incidence of cancer in anti-small ubiquitin-like modifier activating enzyme antibody-positive dermatomyositis.                                    | Rheumatology                 | 54 (9)  | 1745–1747 | 2015 |

|     |             |     |  |                              |          |           |      |
|-----|-------------|-----|--|------------------------------|----------|-----------|------|
| 164 | Murase C    | 皮膚科 | Buruli ulcer successfully treated with negative-pressure wound therapy.  | JAMA Dermatol                | 151 (10) | 1137-1139 | 2015 |
| 165 | Sugiura K   | 皮膚科 | Impetigo herpetiformis with IL36RN mutations in a Chinese patient: a founder haplotype of c.115+6T>C in East Asia.   | J Dermatol Sci               | 79 (3)   | 319-320   | 2015 |
| 166 | Takeichi T  | 皮膚科 | Novel indel mutation of STS underlies a new phenotype of self-healing recessive X-linked ichthyosis.   | J Dermatol Sci               | 79 (3)   | 317-319   | 2015 |
| 167 | Noda K      | 皮膚科 | Porokeratotic eccrine ostial and dermal duct nevus with a somatic homozygous or monoallelic variant of connexin 26   | J Dermatol Sci               | 80 (1)   | 74-76     | 2015 |
| 168 | Shibata A   | 皮膚科 | Apparent homozygosity due to compound heterozygosity of one point mutation and an overlapping exon deletion mutation in ABCA12: A genetic diagnostic pitfall.      | J Dermatol Sci               | 80 (3)   | 196-202   | 2015 |
| 169 | Ogawa M     | 皮膚科 | Anti-transcription intermediary factor 1-gamma antibody-positive clinically amyopathic dermatomyositis complicated by interstitial lung disease and breast cancer. | J Eur Acad Dermatol Venereol | 30 (2)   | 373-375   | 2016 |
| 170 | Takeichi T  | 皮膚科 | Bi-allelic nonsense mutations in ABHD5 underlie a mild phenotype of Dorfman-Chanarin syndrome  | J Dermatol Sci               | 81(2)    | 134-136   | 2016 |
| 171 | Tanahashi K | 皮膚科 | Noteworthy clinical findings of harlequin ichthyosis: digital autoamputation caused by cutaneous constriction bands in a case with novel ABCA12 mutations          | Br J Dermatol                | 174 (3)  | 689-691   | 2016 |

|     |             |       |   |                  |            |           |      |
|-----|-------------|-------|---|------------------|------------|-----------|------|
| 172 | Kono M      | 皮膚科   | Unilateral generalized linear porokeratosis with nail dystrophy.  | J Dermatol       | 43 (3)     | 286-287   | 2016 |
| 173 | Shibata A   | 皮膚科   | Epidemiology, medical genetics, diagnosis and treatment of harlequin ichthyosis in Japan.   | Pediatr Int      | 57 (4)     | 516-522   | 2015 |
| 174 | Sugiura K   | 皮膚科   | Update on autosomal recessive congenital ichthyosis: mRNA analysis using hair samples is a powerful tool for genetic diagnosis.     | J Dermatol Sci   | 79 (1)     | 4-9       | 2015 |
| 175 | Takeichi T  | 皮膚科   | Inherited ichthyosis; non-syndromic forms.  | J Dermatol       | 43(3)      | 242-251   | 2016 |
| 176 | Matsukawa Y | 泌尿器科  | Urodynamic evaluation of the efficacy of mirabegron on storage and voiding functions in women with overactive bladder.              | Urology          | Apr;85(4)  | 786-90    | 2015 |
| 177 | Majima T    | 泌尿器科  | Herpes Simplex Virus Vector-Mediated Gene Delivery of Poreless TRPV1 Channels Reduces Bladder Overactivity and Nociception in Rats. | Hum Gene Ther.   | Nov;26(11) | 734-42    | 2015 |
| 178 | 須賀研治        | 耳鼻咽喉科 | Changes in endolymphatic hydrops in patients with Meniere's disease treated conservatively for more than 1 year                     | Acta otolaryngol | 135(9)     | 866-870   | 2015 |
| 179 | 向井田徹        | 耳鼻咽喉科 | Magnetic resonance imaging evaluation of endolymphatic hydrops in cases with otosclerosis   | Otol Neurotol    | 36(7)      | 1146-1150 | 2015 |

|     |       |           |  |  |       |                           |      |
|-----|-------|-----------|--|--|-------|---------------------------|------|
| 180 | 長縄慎二  | 放射線科/放射線部 | Ratio of Vestibular Endolymph in Patients with Isolated Lateral Semicircular Canal Dysplasia.  | Magn Reson Med Sci.                                    | 14(3) | 203-210                   | 2015 |
| 181 | 長縄慎二  | 放射線科/放射線部 | Cochlear Lymph Fluid Signal Increase in Patients with Otosclerosis after Intravenous Administration of Gadodiamide.  | Magn Reson Med Sci.                                    |       | Epub ahead                | 2016 |
| 182 | 伊藤善之  | 放射線科/放射線部 | A Randomized, Double-Blind Pilot Trial of Hydrolyzed Rice Bran versus Placebo for Radioprotective Effect on Acute Gastroenteritis Secondary to Chemoradiotherapy in Patients with Cervical Cancer. | Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine. |       | doi: 10.1155/2015/974390. | 2015 |
| 183 | 田岡俊昭  | 放射線科/放射線部 | Time Course of Diffusion Kurtosis in Cerebral Infarctions of Transient Middle Cerebral Artery Occlusion Rat Model.   | J Stroke Cerebrovasc Dis.                              | 25(3) | 610-617                   | 2016 |
| 184 | 岩野信吾  | 放射線科/放射線部 | Evaluation of lung cancer by enhanced dual-energy CT: association between three-dimensional iodine concentration and tumour differentiation.   | Br J Radiol.   | 88    | 1055                      | 2015 |
| 185 | 加茂前 健 | 放射線科/放射線部 | Accuracy of Image Guidance Using Free-Breathing Cone-Beam Computed Tomography for Stereotactic Lung Radiotherapy   | PLoS ONE   | 10(5) | e0126152                  | 2015 |
| 186 | 加茂前 健 | 放射線科/放射線部 | Dosimetric impact of dental metallic crown on intensity-modulated radiotherapy and volumetric-modulated arc therapy for head and neck cancer.  | Journal of Applied Clinical Medical Physics.           | 17(1) | 5870                      | 2016 |

|     |       |           |   |                               |        |                           |      |
|-----|-------|-----------|---|-------------------------------|--------|---------------------------|------|
| 187 | 中根俊樹  | 放射線科/放射線部 | How the Non-attending Brain Hears Its Owner's Name.   | Cereb Cortex.                 |        | doi:10.1093/cercor/bhv184 | 2015 |
| 188 | 川村麻里子 | 放射線科/放射線部 | A phase I/II trial of intraoperative breast radiotherapy in an Asian population: 5-year results of local control and cosmetic outcome.  | Radiat Oncol.                 | 10     | 150                       | 2015 |
| 189 | 伊藤倫太郎 | 放射線科/放射線部 | Correlation between FDG-PET/CT findings and solid type non-small cell cancer prognostic factors: are there differences between adenocarcinoma and squamous cell carcinoma?            | Ann Nucl Med.                 | 29(10) | 897-905                   | 2015 |
| 190 | 矢田匡城  | 放射線科/放射線部 | Comparison of the multidetector-row computed tomography findings of IgG4-related sclerosing cholangitis and extrahepatic cholangiocarcinoma.  | Clin Radiol.                  | 71(3)  | 203-210                   | 2016 |
| 191 | 兵藤良太  | 放射線科/放射線部 | Assessment of percutaneous transhepatic portal vein embolization with portal vein stenting for perihilar cholangiocarcinoma with severe portal vein stenosis.                         | J Hepatobiliary Pancreat Sci. | 22(4)  | 310-315                   | 2015 |
| 192 | 兵藤良太  | 放射線科/放射線部 | Pancreatic neuroendocrine tumors containing areas of iso- or hypoattenuation in dynamic contrast-enhanced computed tomography: Spectrum of imaging findings and pathological grading. | Eur J Radiol.                 | 84(11) | 2103-2109                 | 2015 |
| 193 | 小原悟古  | 放射線科/放射線部 | Background parenchymal enhancement in preoperative breast MRI.  | Nagoya J Med Sci.             | 77(3)  | 373-382                   | 2015 |

|     |      |        |   |  |        |             |      |
|-----|------|--------|---|--|--------|-------------|------|
| 194 | 緒方謙一 | 齒科口腔外科 | Evaluation of the therapeutic effects of conditioned media from mesenchymal stem cells in a rat bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw-like model.   | Bone   | 74     | 95-105      | 2015 |
| 195 | 河合孝真 | 齒科口腔外科 | Secretomes from bone marrow-derived mesenchymal stromal cells enhance periodontal tissue regeneration.  | Cytherapy  | 17(4)  | 369-381     | 2015 |
| 196 | 大森正裕 | 齒科口腔外科 | A new application of cell-free bone regeneration: immobilizing stem cells from human exfoliated deciduous teeth-conditioned medium onto titanium implants by using atmospheric pressure plasma treatment. | Stem Cell Research & Therapy                               | 19     | 124         | 2015 |
| 197 | 土屋周平 | 齒科口腔外科 | An experimental study on guided bone regeneration using a polylactide-co-glycolide membrane-immobilized conditioned medium.   | The International Journal of Oral & Maxillofacial Implants | 30(5)  | 1175-1186   | 2015 |
| 198 | 片桐 渉 | 齒科口腔外科 | Secreted frizzled-related protein promotes bone regeneration by human bone marrow-derived mesenchymal stem cells.   | International Journal of Molecular Sciences                | 16(10) | 23250-23258 | 2015 |
| 199 | 見田常幸 | 齒科口腔外科 | Conditioned medium from the stem cells of human dental pulp improves cognitive function in a mouse model of Alzheimer's disease.  | Behavioural Brain Research                                 | 15     | 189-197     | 2015 |
| 200 | 秋田貴子 | 齒科口腔外科 | Secreted factors from dental pulp stem cells improve glucose intolerance in streptozotocin-induced diabetic mice by increasing pancreatic beta-cell function.   | BMJ Open Diabetes Research and Care                        | 3(1)   | e000128     | 2015 |

|     |       |        |  |   |        |           |      |
|-----|-------|--------|--|---|--------|-----------|------|
| 201 | 山口 聡  | 齒科口腔外科 | Dental pulp-derived stem cell conditioned medium reduces cardiac injury following ischemia-reperfusion.                                | Scientific Reports                                      | 5      | 16925     | 2015 |
| 202 | 若山有紀子 | 齒科口腔外科 | Peripheral nerve regeneration by secretomes of stem cells from human exfoliated deciduous teeth.                                       | Stem Cells and Development                              | 24(22) | 2687-2699 | 2015 |
| 203 | 藤尾正人  | 齒科口腔外科 | Conditioned media from hypoxic-cultured human dental pulp cells promotes bone healing during distraction osteogenesis.                 | Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine |        |           | 2015 |
| 204 | 片桐 渉  | 齒科口腔外科 | Conditioned medium from mesenchymal stem cells enhances early bone regeneration after maxillary sinus floor elevation in rabbits.      | Implant Dentistry                                       | 24(6)  | 657-663   | 2015 |
| 205 | 石川 純  | 齒科口腔外科 | Factors secreted from dental pulp stem cells show multifaceted benefits for treating experimental rheumatoid arthritis.                | Bone  | 83     | 210-219   | 2016 |
| 206 | 服部由佳  | 齒科口腔外科 | Therapeutic potential of stem cells from human exfoliated deciduous teeth in models of acute kidney injury.                            | PLoS One  | 10(10) | e0140121  | 2015 |
| 207 | 若山博隆  | 齒科口腔外科 | Factors secreted from dental pulp stem cells show multifaceted benefits for treating acute lung injury in mice.                        | Cytotherapy   | 17(8)  | 1119-1129 | 2015 |
| 208 | 片桐 渉  | 齒科口腔外科 | First-in-human study and clinical case reports of the alveolar bone regeneration with the secretome from human mesenchymal stem cells. | Head & Face Medicine                                    | 12(5)  |           | 2016 |

|     |             |        |   |   |         |          |      |
|-----|-------------|--------|---|---|---------|----------|------|
| 209 | 坂倉寛紀        | 齒科口腔外科 | CD109 is a component of exosome secreted from cultured cells.   | Biochemical and Biophysical Research Communications | 469(4)  | 816-822  | 2016 |
| 210 | Nakamura R  | 神経内科   | Next-generation sequencing of 28 ALS-related genes in a Japanese ALS cohort.  | Neurobiol Aging.                                    | 39      | 219.e1-8 | 2016 |
| 211 | Ding Y      | 神経内科   | Overexpression of hepatocyte growth factor in SBMA model mice has an additive effect on combination therapy with castration.                                    | Biochem Biophys Res Commun.                         | 468(4)  | 677-83   | 2015 |
| 212 | Araki K     | 神経内科   | Myotonia-like symptoms in a patient with spinal and bulbar muscular atrophy.  | Neuromuscul Disord.                                 | 25(11)  | 913-5    | 2015 |
| 213 | Tsuboi T    | 神経内科   | Characteristic laryngoscopic findings in Parkinson's disease patients after subthalamic nucleus deep brain stimulation and its correlation with voice disorder. | J Neural Transm (Vienna).                           | 122(12) | 1663-72  | 2015 |
| 214 | Sahashi K   | 神経内科   | Silencing neuronal mutant androgen receptor in a mouse model of spinal and bulbar muscular atrophy.   | Hum Mol Genet.                                      | 24(21)  | 5985-94  | 2015 |
| 215 | Kondo N     | 神経内科   | Hemodialysis-related portal-systemic encephalopathy.  | Intern Med.   | 54(9)   | 1113-7   | 2015 |
| 216 | Hashizume A | 神経内科   | A functional scale for spinal and bulbar muscular atrophy: Cross-sectional and longitudinal study.  | Neuromuscul Disord.                                 | 25(7)   | 554-62   | 2015 |
| 217 | Tanaka Y    | 神経内科   | Voice features of Parkinson's disease patients with subthalamic nucleus deep brain stimulation.   | J Neurol.   | 262(5)  | 1173-81  | 2015 |

|     |                  |      |  |                                |        |                                   |      |
|-----|------------------|------|--|--------------------------------|--------|-----------------------------------|------|
| 218 | 徳田順之             | 心臓外科 | Hybrid versus open repair of aortic arch aneurysms: comparison of postoperative and mid-term outcomes with a propensity score-matching analysis.   | Eur J Cardiothorac Surg.       | 49(1)  | 149-56                            | 2016 |
| 219 | Heo YH           | 形成外科 | Relationship between BMI and Postoperative Complications with Free Flap in Anterolateral Craniofacial Reconstruction.  | Plast Reconstr Surg Glob Open. | 8(4)   |                                   | 2016 |
| 220 | Keisuke Takanari | 形成外科 | Operative wound-related complications after cranial revascularization surgeries.   | J Neurosurg.                   | 123(5) | 1145-50                           | 2015 |
| 221 | Murase N         | 小児外科 | A new era of laparoscopic revision of kasai portoenterostomy for the treatment of biliary atresia  | BioMed Research International  |        | 173014                            | 2015 |
| 222 | Murase N         | 小児外科 | A feasibility of single-incision laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure for treatment of incarcerated inguinal hernia in children: our preliminary outcome and review of the literature | Nagoya J Med Sci               | 78     | 19-25                             | 2016 |
| 223 | Hinoki A         | 小児外科 | Polylactic acid nanosheets in prevention of postoperative intestinal adhesion and their effects on bacterial propagation in an experimental model.   | British Journal of Surgery     |        | DOI<br>10.1002/<br>/bjs.101<br>22 | 2016 |
| 224 | 栗本秀              | 手の外科 | Activation of the Wnt/beta-catenin signaling cascade after traumatic nerve injury.   | Neuroscience                   | 294    | 101-108                           | 2015 |
| 225 | 藤原祐樹             | 手の外科 | Morphological Characteristics of Olecranon Fractures in Adults: a Computed Tomography-based Study.   | Acta Orthop Belg.              | 82-2   |                                   | 2016 |

|     |                |       |   |  |          |           |      |
|-----|----------------|-------|---|--|----------|-----------|------|
| 226 | Kishimoto M    | 検査部   | The first case of antithrombin-resistant prothrombin Belgrade mutation in Japanese  | Annals of Hematology                     | 95(3)    | 541-2     | 2016 |
| 227 | Kanematsu T    | 検査部   | A case of MYH9 disorders caused by a novel mutation (p.K74E).   | Annals of Hematology                     | 95(1)    | 161-3     | 2016 |
| 228 | Suzuki N.      | 輸血部   | The features of clearance in recombinant factor IX (BeneFIX®).  | Haemophilia                              | 21       | 702       | 2015 |
| 229 | Matsushita T   | 輸血部   | [Current progress and future direction of hemophilia treatment].  | Rinsho Ketsueki.                         | 56(10)   | 2100-2109 | 2015 |
| 230 | 松岡歩            | 化学療法部 | FOLFIRINOX-induced reversible dysarthria.   | Oncol Lett.                              | 10(4)    | 2662-2664 | 2015 |
| 231 | Bishal Gyawali | 化学療法部 | Chemotherapy in locally advanced head and neck squamous cell carcinoma.   | Cancer Treat Rev.                        | 44       | 10-6      | 2016 |
| 232 | Bishal Gyawali | 化学療法部 | Opioid-induced constipation.  | Scandinavian Journal of Gastroenterology | 50(11)   | 1331-8    | 2015 |
| 233 | Bishal Gyawali | 化学療法部 | Explanation for the shorter progression-free survival with Nivolumab in Checkmate 057.  | N Engl J Med                             | 4;374(5) | 493       | 2016 |
| 234 | 松岡歩            | 化学療法部 | TRIBE study: administration of all three cytotoxic agents is crucial in advanced colorectal cancer.                               | Lancet Oncol                             | 16(16):  | e577      | 2015 |
| 235 | 本多和典           | 化学療法部 | Reasons for discrepancy between locoregional and distant PFS in the trial of locoregional treatment for metastatic breast cancer. | Lancet Oncol                             | 16(16)   | e586      | 2015 |

|     |                  |            |  |                          |        |           |      |
|-----|------------------|------------|--|--------------------------|--------|-----------|------|
| 236 | Bishal Gyawali   | 化学療法部      | Discordance between the results and conclusions of ICON-7.   | Lancet Oncol             | 16(13) | e478      | 2015 |
| 237 | 松岡歩              | 化学療法部      | FOLFOXIRI and bevacizumab for metastatic colorectal cancer. Letter to the editor regarding the Loupakis article of 23-Oct-2014 [correspondence]. | N Engl J Med             | 372    | 290-292   | 2015 |
| 238 | 前田修              | 化学療法部      | Nivolumab for the treatment of malignant melanoma in a patient with pre-existing myasthenia gravis.  | Nagoya J Med Sci         | 78(1)  | 119-22    | 2016 |
| 239 | 森佐知              | 化学療法部      | Pazopanib monotherapy in a patient with malignant granular cell tumor that originally arose in the right orbit: a case report.                   | Oncol Lett.              | 10(2)  | 972-974   | 2015 |
| 240 | Hiroshi Kato     | 薬剤部        | A retrospective study to identify risk factors for somnolence and dizziness in patients treated with pregabalin.                                 | J Pharm Health Care Sci. | 1      |           | 2015 |
| 241 | Kazuhiro Hayashi | リハビリテーション部 | Associations between pain drawing and psychological characteristics of different body region pains.  | Pain Pract               | 15・4   | 300-307   | 2015 |
| 242 | Kazuhiro Hayashi | リハビリテーション部 | Predictive factors for the outcome of multidisciplinary treatments in chronic low back pain at the first multidisciplinary pain center of Japan. | J Phys Ther Sci          | 27・9   | 2901-2905 | 2015 |

計 242 件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

| 番号 | 発表者氏名      | 発表者の所属 | 題名   | 雑誌名                           |         |         |      |
|----|------------|--------|--|-------------------------------|---------|---------|------|
|    |            |        |  |                               |         |         |      |
| 1  | Murata M   | 血液内科   | Impact of conditioning intensity and TBI on acute GVHD after hematopoietic cell transplantation.   | Bone Marrow Transplant        | 50(4)   | 559-65  | 2015 |
| 2  | Nishida T  | 血液内科   | Chimerism status after unrelated donor bone marrow transplantation with fludarabine-melphalan conditioning is affected by the melphalan dose and is predictive of relapse.   | Ann Hematol.                  | 94(7)   | 1139-48 | 2015 |
| 3  | Hayakawa F | 血液内科   | Discovery of a drug targeting microenvironmental support for lymphoma cells by screening using patient-derived xenograft cells   | Sci Rep                       | 5       | 13054   | 2015 |
| 4  | Murata M   | 血液内科   | Age influences post-graft-versus-host disease non-relapse mortality in adults with acute graft-versus-host disease of varying severity following allogeneic hematopoietic cell transplant.   | Leuk Lymphoma                 | 56(8)   | 2392-7  | 2015 |
| 5  | Nishida T  | 血液内科   | Cytomegalovirus Reactivation after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation is Associated with a Reduced Risk of Relapse in Patients with Acute Myeloid Leukemia Who Survived to Day 100 after Transplantation: The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation Transplantation-related Complication Working Group. | Biol Blood Marrow Transplant. | 21(11)  | 2008-16 | 2015 |
| 6  | Kiyoi H    | 血液内科   | Phase I trial of volasertib, a Polo-like kinase inhibitor, in Japanese patients with acute myeloid leukemia.   | Cancer Sci                    | 106(11) | 1590-5  | 2015 |

|    |            |       |   |                        |        |           |      |
|----|------------|-------|---|------------------------|--------|-----------|------|
| 7  | Tomita A   | 血液内科  | Nodular lymphocyte predominant Hodgkin lymphoma: Clinicopathological study of 25 cases from Japan with a reappraisal of tissue associated macrophages.  | Pathol Int             | 65(12) | 652-60    | 2015 |
| 8  | Kiyoi H    | 血液内科  | Clinical usefulness of WT1 mRNA expression in bone marrow detected by a new WT1 mRNA assay kit for monitoring acute myeloid leukemia: a comparison with expression of WT1 mRNA in peripheral blood. | Int J Hematol          | 103(1) | 53-62     | 2016 |
| 9  | Murata M   | 血液内科  | Risk factors and prognosis of hepatic acute GvHD after allogeneic hematopoietic cell transplantation.   | Bone Marrow Transplant | 51(1)  | 96-102    | 2016 |
| 10 | Murata M   | 血液内科  | Bone marrow-derived mesenchymal stem cells (JR-031) for steroid-refractory grade III or IV acute graft-versus-host disease: a phase II/III study.   | Int J Hematol          | 103(2) | 243-50    | 2016 |
| 11 | Hayakawa F | 血液内科  | BLNK is a selective target of repression by PAX5-PML in the differentiation block that leads to the development of acute lymphoblastic leukemia.  | J Biol Chem            | 291(9) | 4723-31   | 2016 |
| 12 | Murata M   | 血液内科  | A comparison of tacrolimus and cyclosporine combined with methotrexate for graft-versus-host disease prophylaxis, stratified by stem cell source: a retrospective nationwide survey.                | Int J Hematol          | 103(3) | 322-33    | 2016 |
| 13 | 前田 健吾      | 循環器内科 | New endoplasmic reticulum stress regulator, Gipie, regulates the survival of vascular smooth muscle cells and the neointima formation after vascular injury. Arterioscler.                          | Thromb. Vasc. Biol     | 35     | 1246-1253 | 2015 |

|    |       |       |  |  |        |           |      |
|----|-------|-------|--|--|--------|-----------|------|
| 14 | 石井 秀樹 | 循環器内科 | Assessment of in-stent restenosis using high-definition computed tomography with a new gemstone detector.  | Circ. J.   | 79     | 1542-1548 | 2015 |
| 15 | 小林 光一 | 循環器内科 | Wnt11 gene therapy with Adeno-associated Virus 9 improves the survival of mice with myocarditis induced by coxsackievirus B3 through the suppression of the inflammatory reaction.             | J. Mol. Cell. Cardiol.                           | 84     | 45-51     | 2015 |
| 16 | 石井 秀樹 | 循環器内科 | Inverse association between diabetes and aortic dilatation in patients with advanced coronary artery disease.  | Atherosclerosis.                                 | 242    | 123-127   | 2015 |
| 17 | 石井 秀樹 | 循環器内科 | Impact of the statin escape phenomenon on long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction: Subgroup analysis of the Nagoya Acute Myocardial Infarction Study (NAMIS). | Atherosclerosis.                                 | 242    | 155-160   | 2015 |
| 18 | 竹藤 幹人 | 循環器内科 | Akt-dependent Girdin phosphorylation regulates repair processes after acute myocardial infarction.   | J. Mol. Cell. Cardiol.                           | 88     | 55-63     | 2015 |
| 19 | 因田 恭也 | 循環器内科 | Decrease in B-Type natriuretic Peptide Levels and Successful Catheter Ablation for Atrial Fibrillation in Patients with Heart Failure.   | Pacing Clin. Electrophysiol.                     | 39     | 225-234   | 2016 |
| 20 | 石上 雅敏 | 消化器内科 | Copper Accumulates in Hemosiderins in Livers of Patients with Iron Overload Syndromes  | Journal of Clinical and Translational Hepatology | 3(2)   | 5-92      | 2015 |
| 21 | 石上 雅敏 | 消化器内科 | Effect of hyperglycemia on hepatocellular carcinoma development in diabetes.   | Biochem Biophys Res Commun                       | 463(3) | 344-350   | 2015 |

|    |            |           |   |                             |        |                          |      |
|----|------------|-----------|---|-----------------------------|--------|--------------------------|------|
| 22 | 石上 雅敏      | 消化器内科     | Associations between responses to interferon therapy and genetic variation in interleukin-28B and the core region of hepatitis C virus genotype 3a. | JOURNAL OF MEDICAL VIROLOGY | 87(8)  | 1361-7                   | 2015 |
| 23 | 後藤 秀実      | 消化器内科     | Acute Hepatic Phenotype of Wilson Disease: Clinical Features of Acute Episodes and Chronic Lesions Remaining in Survivors                           | J Clin Transl Hepatol       | 283(4) | :239-45                  | 2015 |
| 24 | Hasegawa Y | 呼吸器内科     | Safety and pharmacokinetics of nintedanib and pirfenidone in idiopathic pulmonary fibrosis.   | Eur Respir J                | 45     | 1382-92.                 | 2015 |
| 25 | Hasegawa Y | 呼吸器内科     | Targeting ceramide synthase 6-dependent metastasis-prone phenotype in lung cancer cells.  | J Clin Invest               | 126    | 254-65.                  | 2015 |
| 26 | Hasegawa Y | 呼吸器内科     | Arginine methylation of ubiquitin-associated protein 2-like is required for the accurate distribution of chromosomes.                               | FASEB J                     | 30     | 312-23                   | 2016 |
| 27 | Hasegawa Y | 呼吸器内科     | Pharmacogenetic association between GSTP1 genetic polymorphism and febrile neutropenia in Japanese patients with early breast cancer.               | Breast Cancer.              | 23     | 195-201                  | 2016 |
| 28 | 須賀英隆       | 糖尿病・内分泌内科 | Functional anterior pituitary generated in self-organizing culture of human embryonic stem cells.   | Nature Communications       | 7      | DOI: 10.1038/ncomms10351 | 2016 |
| 29 | 須賀英隆       | 糖尿病・内分泌内科 | BMP4 and FGF strongly induce differentiation of mouse ES cells into oral ectoderm.  | Stem Cell Research          | 15(2)  | 290-298                  | 2015 |

|    |       |      |  |                         |         |          |      |
|----|-------|------|--|-------------------------|---------|----------|------|
| 30 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | Functional Difference Between Membrane-Bound and Soluble Human Thrombomodulin.   | Transplantation         | 99(4)   | 702-9    | 2015 |
| 31 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | Longitudinal Study of the Decline in Renal Function in Healthy Subjects.   | PLoS One                | 10(6)   | e0129036 | 2015 |
| 32 | 松尾 清一 | 腎臓内科 | Japan as the front-runner of super-aged societies: Perspectives from medicine and medical care in Japan.   | Geriatr Gerontol Int    | 15(6)   | 673-87   | 2015 |
| 33 | 松尾 清一 | 腎臓内科 | Pulmonary involvements of anti-neutrophil cytoplasmic autoantibody-associated renal vasculitis in Japan.   | Nephrol Dial Transplant | Suppl 1 | i83-93   | 2015 |
| 34 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | Neutrophil/lymphocyte ratio as a predictor of cardiovascular events in incident dialysis patients: a Japanese prospective cohort study.  | Clin Exp Nephrol        | 19(4)   | 718-24   | 2015 |
| 35 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | The efficacy of tolvaptan as a diuretic for chronic kidney disease patients.   | Acta Cardiol            | 70(2)   | 217-23   | 2015 |
| 36 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | Rationale and study design of a randomized controlled trial to assess the effects of maintaining hemoglobin levels using darbepoetin alfa on prevention of development of end-stage kidney disease in non-diabetic CKD patients (PREDICT Trial). | Clin Exp Nephrol        | 20(1)   | 71-6     | 2016 |
| 37 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | Association of Estimated Glomerular Filtration Rate and Proteinuria With Lipid-Rich Plaque in Coronary Artery Disease.   | Circ J                  | 79(10)  | 2263-70  | 2015 |

|    |       |      |   |                          |        |         |      |
|----|-------|------|---|--------------------------|--------|---------|------|
| 38 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | Increase of Antimyeloperoxidase Antineutrophil Cytoplasmic Antibody (ANCA) in Patients with Renal ANCA-associated Vasculitis: Association with Risk to Relapse.                 | J Rheumatol              | 42(10) | 1853-60 | 2015 |
| 39 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | Impact of abdominal aortic calcification on long-term cardiovascular outcomes in patients with chronic kidney disease.  | Atherosclerosis          | 243(2) | 349-55  | 2015 |
| 40 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | Plasma-liquid interactions: key role in plasma medical research and new fields of application   | Clinical Plasma Medicine | 3(2)   | 72-76   | 2015 |
| 41 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | In a retrospective international study, circulating miR-148b and let-7b were found to be serum markers for detecting primary IgA nephropathy.                                   | Kidney Int               | 89(3)  | 183-92  | 2016 |
| 42 | 安田 宜成 | 腎臓内科 | Is the new GFR equation using inulin clearance a more accurate method for Asian patients?   | Clin Nephrol             | 84(6)  | 331-8   | 2015 |
| 43 | 松尾 清一 | 腎臓内科 | A Prospective Observational Survey on the Long-Term Effect of LDL Apheresis on Drug-Resistant Nephrotic Syndrome.   | Nephron Extra            | 5(2)   | 58-66   | 2015 |
| 44 | 松尾 清一 | 腎臓内科 | Drug-induced kidney disease: a study of the Japan Renal Biopsy Registry from 2007 to 2015.  | Clin Exp Nephrol         | Epub   |         | 2015 |
| 45 | 丸山 彰一 | 腎臓内科 | Identification of C1q as a Binding Protein for Advanced Glycation End Products.   | Biochemistry             | 55(3)  | 435-46  | 2016 |
| 46 | 松尾 清一 | 腎臓内科 | Comparison of severity classification in Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis in a nationwide, prospective, inception cohort study. | Mod Rheumatol            | 12     | 1-28    | 2016 |

|    |          |      |   |                              |          |          |      |
|----|----------|------|---|------------------------------|----------|----------|------|
| 47 | 水野 正司    | 腎臓内科 | Depression of complement regulatory factors in rat and human renal grafts is associated with the progress of acute T-cell mediated rejection. | PLoS One                     | 11(2)    | e0148881 | 2016 |
| 48 | Komori K | 血管外科 | Validation of Patient Selection for Endovascular Aneurysm Repair or Open Repair of Abdominal Aortic Aneurysm - Single-Center Study            | Circ J                       | 79(8)    | 1699-705 | 2015 |
| 49 | Komori K | 血管外科 | Relationship between the distal migration and length of the distal landing zone after endovascular aneurysm repair (EVAR)                     | Surg Today                   | 46(1)    | 56-61    | 2016 |
| 50 | Komori K | 血管外科 | Zilver PTX Post-Market Surveillance Study of Paclitaxel-Eluting Stents for Treating Femoropopliteal Artery Disease in Japan: 12-Month Results | JACC Cardiovasc Interv       | 9(3)     | 271-7    | 2016 |
| 51 | Komori K | 血管外科 | Real-time in vitro intravascular reconstruction and navigation for endovascular aortic stent grafting   | Int J Med Robot              | in press | in press | 2016 |
| 52 | Komori K | 血管外科 | Inverse association between diabetes and aortic dilatation in patients with advanced coronary artery disease.                                 | Atherosclerosis.             | 242      | 123-127  | 2015 |
| 53 | Ogura Y  | 移植外科 | Postoperative Psychiatric Complications in Living Liver Donors  | Transplant Proc.             | 47 (6)   | 1860-5   | 2015 |
| 54 | Ogura Y  | 移植外科 | Changes in Surgical Site Infections after Living Donor Liver Transplantation  | PLoS One                     | 10 (8)   | e0136559 | 2015 |
| 55 | Ogura Y  | 移植外科 | Current status of deceased donor split liver transplantation in Japan.  | J Hepatobiliary Pancreat Sci | 22 (12)  | 837-45   | 2015 |

|    |          |        |   |                              |          |                   |      |
|----|----------|--------|---|------------------------------|----------|-------------------|------|
| 56 | 小寺泰弘     | 消化器外科二 | Long-term quality of life after laparoscopic distal gastrectomy for early gastric cancer: results of a prospective multi-institutional comparative trial. | Gastric Cancer               | 18(2)    | 417-425           | 2015 |
| 57 | 神田光郎     | 消化器外科二 | Dihydropyrimidinase-like 3 is a putative hepatocellular carcinoma tumor suppressor.   | Journal of Gastroenterology  | 50(5)    | 590-600           | 2015 |
| 58 | 小池聖彦     | 消化器外科二 | Feeding Duodenostomy Decreases the Incidence of Mechanical Obstruction After Radical Esophageal Cancer Surgery.   | World Journal of Surgery     | 39(5)    | 1105-1110         | 2015 |
| 59 | 神田光郎     | 消化器外科二 | Detection of serum melanoma-associated antigen D4 in patients with squamous cell carcinoma of the esophagus.  | Disease of the Esophagus     | in press | in press          | 2015 |
| 60 | 猪川祥邦     | 消化器外科二 | Protein tyrosine kinase 7: a hepatocellular carcinoma-related gene detected by triple-combination array.  | Journal of Surgical Research | 195(2)   | 444-453           | 2015 |
| 61 | 山田豪      | 消化器外科二 | Effectiveness of plasma treatment on gastric cancer cells.  | Gastric Cancer               | 18(3)    | 635-643           | 2015 |
| 62 | 山田豪      | 消化器外科二 | CD44 single nucleotide polymorphism and isoform switching may predict gastric cancer recurrence.  | Journal of Surgical Oncology | 112(6)   | 622-628           | 2015 |
| 63 | 山田豪      | 消化器外科二 | S-1 plus nab-paclitaxel is a promising regimen for pancreatic cancer in a preclinical model.  | Journal of Surgical Oncology | 113(4)   | 413-419           | 2016 |
| 64 | Kadono I | 整形外科   | Gait Speeds Associated with Anxiety Responses to Pain in Osteoarthritis Patients.   | Pain Medicine                |          | 10.1111/pme.12897 | 2015 |

|    |             |      |  |   |       |                          |      |
|----|-------------|------|--|---|-------|--------------------------|------|
| 65 | Amano T     | 整形外科 | Surgical education of eccentric rotational acetabular osteotomy for hip trainees.  | Hip International                           | 26(2) | 180-185                  | 2016 |
| 66 | Komatsu D   | 整形外科 | Validity of radiographic assessment of the knee joint space using automatic image analysis.  | Modern Rheumatology                         | 17    | 1-6                      | 2016 |
| 67 | Takahashi N | 整形外科 | Comparison of efficacy and safety of tacrolimus and methotrexate in combination with abatacept in patients with rheumatoid arthritis; a retrospective observational study in the TBC Registry. | Modern Rheumatology                         | 25(6) | 825-830                  | 2015 |
| 68 | Takahashi N | 整形外科 | Disease activity early in treatment as a predictor of future low disease activity in RA patients treated with iguratimod.  | Modern Rheumatology                         | 26(2) | 169-174                  | 2016 |
| 69 | Kojima T    | 整形外科 | Patient-reported outcomes as assessment tools and predictors of long-term prognosis: a 7-year follow-up study of patients with rheumatoid arthritis.   | International journal of Rheumatic diseases |       | 10.1111/1756-185X.12789. | 2015 |
| 70 | Ishikawa Y  | 整形外科 | Delayed Onset of Subdural Hematoma following Epidural Catheter Breakage.   | Global Spine J                              | 6(1)  | e1-6                     | 2016 |
| 71 | Yagi H      | 整形外科 | Correction: Zonisamide Enhances Neurite Elongation of Primary Motor Neurons and Facilitates Peripheral Nerve Regeneration In Vitro and in a Mouse Model.                                       | PLoS One. 2016                              |       | e0148470                 | 2016 |
| 72 | Muramoto A  | 整形外科 | Spinal sagittal balance substantially influences locomotive syndrome and physical performance in community-living middle-aged and elderly women.   | J Orthop Sci. 2016                          | 21(2) | 216-21.                  | 2016 |

|    |             |      |  |                         |       |          |      |
|----|-------------|------|--|-------------------------|-------|----------|------|
| 73 | Ito Z       | 整形外科 | Variety of the Wave Change in Compound Muscle Action Potential in an Animal Model.   | Asian spine journal     | 9(6)  | 952-7    | 2015 |
| 74 | Matsumoto T | 整形外科 | Outpatient Myelography: A Prospective Trial Comparing Complications after Myelography between Outpatients and Inpatients in Japan.           | Asian Spine J           | 9(6)  | 928-34   | 2015 |
| 75 | Kobayashi K | 整形外科 | Tuberculous meningitis with dementia as the presenting symptom after intramedullary spinal cord tumor resection.                             | Nagoya J Med Sci        | 77(4) | 653-7    | 2015 |
| 76 | Yagi H      | 整形外科 | Zonisamide Enhances Neurite Elongation of Primary Motor Neurons and Facilitates Peripheral Nerve Regeneration In Vitro and in a Mouse Model. | PLoS One. 2015          | 11(1) | e0142786 | 2016 |
| 77 | Ando K      | 整形外科 | How do spinal schwannomas progress? The natural progression of spinal schwannomas on MRI.  | J Neurosurg Spine. 2016 | 24(1) | 155-9    | 2016 |
| 78 | Kobayashi K | 整形外科 | Utility of a 3-dimensional full-scale NaCl model for rib strut grafting for anterior fusion for cervicothoracic kyphosis.                    | Nagoya J Med Sci. 2015  | 77(3) | 525-30   | 2015 |
| 79 | Kobayashi K | 整形外科 | Fatal case of cervical blunt vascular injury with cervical vertebral fracture: a case report.  | Nagoya J Med Sci. 2015  | 77(3) | 507-14   | 2015 |
| 80 | Tauchi R    | 整形外科 | Influence of spinal imbalance on knee osteoarthritis in community-living elderly adults.   | Nagoya J Med Sci. 2015  | 77(3) | 329-37   | 2015 |
| 81 | Kobayashi K | 整形外科 | Hyperamylasemia and pancreatitis following posterior spinal surgery.   | J Orthop Sci. 2015      | 20(6) | 967-72   | 2015 |

|    |             |      |   |                               |             |  |      |
|----|-------------|------|---|-------------------------------|-------------|--|------|
| 82 | Kobayashi K | 整形外科 | Spinal metastasis from struma ovarii: case report and review of the literature.   | Asian Spine J. 2015           | 9(2)        | 281-5  | 2015 |
| 83 | Matsumoto T | 整形外科 | Treatment of perimedullary arteriovenous fistula of the spinal cord by superselective neuroendovascular therapy: A case report and literature review.   | J Orthop Sci. 2016            | 21(1)       | 86-90  | 2016 |
| 84 | Nakashima H | 整形外科 | Adjacent Segment Disease After Posterior Lumbar Interbody Fusion: Based on Cases With a Minimum of 10 Years of Follow-up.                               | Spine                         | 40(14)      | E831-41                                      | 2015 |
| 85 | Ishikawa Y  | 整形外科 | A combination of keratan sulfate digestion and rehabilitation promotes anatomical plasticity after rat spinal cord injury.                              | Neurosci Lett                 | 593         | 13-8   | 2015 |
| 86 | Kaneko H    | 眼科   | Human IgG1 antibodies suppress angiogenesis in a target-independent manner.   | Signal Transduct Target Ther. | pii: 15001. |  | 2016 |
| 87 | Kaneko H    | 眼科   | Association of intraocular pressure changes with right ventricular diameter and brain natriuretic peptide in a case of pulmonary arterial hypertension. | J Glaucoma.                   | 25(3)       | e295-8. doi: 10.1097/IJG.0000000000000371    | 2016 |
| 88 | Terasaki H  | 眼科   | Transplantation of human embryonic stem cell-derived retinal tissue in two primate models of retinal degeneration.                                      | Proc Natl Acad Sci U S A.     | 113(1)      | E81-90. doi: 10.1073/pnas.1512590113.        | 2016 |
| 89 | Ito Y       | 眼科   | Influence of clinical factors and magnification correction on normal thickness profiles of macular retinal layers using optical coherence tomography.   | PLoS One.                     | 11(1)       | e0147782. doi: 10.1371/journal.pone.0147782. | 2016 |

|    |            |    |   |                   |         |  |      |
|----|------------|----|---|-------------------|---------|--|------|
| 90 | Kaneko H   | 眼科 | Expression of vascular endothelial growth factor by retinal pigment epithelial cells induced by amyloid-beta is depressed by an endoplasmic reticulum stress inhibitor. | Ophthalmic Res.   | 55(1)   | 37-44.<br>doi:10.1159/000440885.               | 2015 |
| 91 | Asami T    | 眼科 | Buckling surgery and supplemental intravitreal bevacizumab or photocoagulation on stage 4 retinopathy of prematurity eyes.  | Jpn J Ophthalmol. | 59(6)   | 378-88.<br>doi:<br>10.1007/s10384-015-0401-5.  | 2015 |
| 92 | Terasaki H | 眼科 | Cytoprotective effects of a novel Nrf2 activator, RS9, in rhodopsin Pro347Leu rabbits.  | Curr Eye Res.     | —       | 1-4.   | 2015 |
| 93 | Terasaki H | 眼科 | Intravitreal aflibercept for diabetic macular edema: 100-week results from the VISTA and VIVID studies.   | Ophthalmology.    | 122(10) | 2044-52. doi:<br>10.1016/j.ophtha.2015.06.017. | 2015 |
| 94 | Terasaki H | 眼科 | Multicenter observational study comparing sedation/analgesia protocols for laser photocoagulation treatment of retinopathy of prematurity.                              | J Perinatol.      | —       | 1-5. doi:<br>10.1038/jp.2015.112.              | 2015 |
| 95 | Terasaki H | 眼科 | Functional and morphological study of retinal photoreceptor cell degeneration in transgenic rabbits with a Pro347Leu rhodopsin mutation.                                | Jpn J Ophthalmol. | 59(5)   | 353-63.<br>doi:<br>10.1007/s10384-015-0400-6.  | 2015 |
| 96 | Maruko R   | 眼科 | Initial versus delayed photodynamic therapy in combination with anibizumab for treatment of polypoidal choroidal vasculopathy: The Fujisan Study.                       | Retina.           | 35(8)   | 1569-76. doi:<br>10.1097/IAE.0000000000000526. | 2015 |

|     |         |               |   |                            |         |   |      |
|-----|---------|---------------|---|----------------------------|---------|---|------|
| 97  | Iwase T | 眼科            | Sex-related differences in ocular blood flow of healthy subjects using laser speckle flowgraphy.  | Invest Ophthalmol Vis Sci. | 56(8)   | 4880-90. doi: 10.1167/iovs.15-16567.        | 2015 |
| 98  | Ueno S  | 眼科            | Pikachurin protein required for increase of cone electroretinogram b-wave during light adaptation.  | PLoS One.                  | 10(6)   | e0128921. doi:10.1371/journal.pone.0128921. | 2015 |
| 99  | Iwase T | 眼科            | Changes in retinochoroidal thickness after vitrectomy for proliferative diabetic retinopathy.   | Invest Ophthalmol Vis Sci. | 56(5)   | 3034-40. doi: 10.1167/iovs.14-15981.        | 2015 |
| 100 | 尾崎紀夫    | 精神科・親と子どもの心療科 | Autopsy-confirmed hippocampal-sparing Alzheimer's disease with delusional jealousy as initial manifestation   | Psychogeriatrics           | 15 (3)  | 198-203                                     | 2015 |
| 101 | 尾崎紀夫    | 精神科・親と子どもの心療科 | No support for replication of the genetic variants identified by a recent mega-analysis of the treatment response to antidepressants                                      | J Hum Genet                | 60 (6)  | 343-4                                       | 2015 |
| 102 | 尾崎紀夫    | 精神科・親と子どもの心療科 | Resequencing and Association Analysis of CLN8 with Autism Spectrum Disorder in a Japanese Population  | PLoS One                   | 10 (12) | e0144624                                    | 2015 |
| 103 | 尾崎紀夫    | 精神科・親と子どもの心療科 | Five Patients With Burning Mouth Syndrome in Whom an Antidepressant (Serotonin-Noradrenaline Reuptake Inhibitor) Was Not Effective, but Pregabalin Markedly Relieved Pain | Clin Neuropharmacol        | 38 (4)  | 158-161                                     | 2015 |

|     |      |               |  |                              |          |         |      |
|-----|------|---------------|--|------------------------------|----------|---------|------|
| 104 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | Association study of BCL9 gene polymorphisms rs583583 with schizophrenia and negative symptoms in Japanese population  | Sci Rep                      | 5        | 15705   | 2015 |
| 105 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | Identification of Rare, Single-Nucleotide Mutations in NDE1 and Their Contributions to Schizophrenia Susceptibility  | Schizophr Bull               | 41 (3)   | 744-53  | 2015 |
| 106 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | The effects of acute treatment with ramelteon, triazolam, and placebo on driving performance, cognitive function, and equilibrium function in healthy volunteers | Psychopharmacology (Berl)    | 232 (12) | 2127-37 | 2015 |
| 107 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | Impaired cortical oxygenation is related to mood disturbance resulting from three nights of sleep restriction  | Sleep and Biological Rhythms | 13       | 387-394 | 2015 |
| 108 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | Relationship between social support during pregnancy and postpartum depressive state: a prospective cohort study   | Sci Rep                      | 5        | 10520   | 2015 |
| 109 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | Associations between the orexin (hypocretin) receptor 2 gene polymorphism Val308Ile and nicotine dependence in genome-wide and subsequent association studies    | Mol Brain                    | 8 (1)    | 50      | 2015 |
| 110 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | Association of Beck Depression Inventory score and Temperament and Character Inventory-125 in patients with eating disorders and severe malnutrition             | J Eat Disord                 | 3        | 36      | 2015 |

|     |       |               |   |                          |         |          |      |
|-----|-------|---------------|---|--------------------------|---------|----------|------|
| 111 | 尾崎紀夫  | 精神科・親と子どもの心療科 | Temperament and character profiles of patients with burning mouth syndrome  | J Psychosom Res          | 78 (5)  | 495-8    | 2015 |
| 112 | 尾崎紀夫  | 精神科・親と子どもの心療科 | The Piccolo Intronic Single Nucleotide Polymorphisms rs13438494 Regulates Dopamine and Serotonin Uptake and Shows Associations with Dependence-Like Behavior in Genomic Association Study | Curr Mol Med             | 15 (3)  | 265-74   | 2015 |
| 113 | 尾崎紀夫  | 精神科・親と子どもの心療科 | Early exposure to the combined measles-mumps-rubella vaccine and thimerosal-containing vaccines and risk of autism spectrum disorder  | Vaccine                  | 33 (21) | 2511-6   | 2015 |
| 114 | 尾崎紀夫  | 精神科・親と子どもの心療科 | Glia-related genes and their contribution to schizophrenia  | Psychiatry Clin Neurosci | 69 (8)  | 448-61   | 2015 |
| 115 | 尾崎紀夫  | 精神科・親と子どもの心療科 | White matter microstructure between the pre-SMA and the cingulum bundle is related to response conflict in healthy subjects   | Brain Behav              | 5 (10)  | e00375   | 2015 |
| 116 | 村松 秀城 | 小児科           | Aberrant DNA Methylation Is Associated with a Poor Outcome in Juvenile Myelomonocytic Leukemia.   | PLoS One                 | 10(12)  | e0145394 | 2016 |
| 117 | 村松 秀城 | 小児科           | Correlation of rabbit antithymocyte globulin serum levels and clinical outcomes in children who received hematopoietic stem cell transplantation from an alternative donor.               | Pediatr Transplant       | 20(1)   | 105-13   | 2016 |
| 118 | 村松 秀城 | 小児科           | GATA2 and secondary mutations in familial myelodysplastic syndromes and pediatric myeloid malignancies.   | Haematologica            | 100(10) | 398-401  | 2015 |

|     |           |     |   |                              |          |           |      |
|-----|-----------|-----|---|------------------------------|----------|-----------|------|
| 119 | Akiyama M | 皮膚科 | Loss-of-function mutations in the gene encoding flaggrin underlie a Japanese family with food-dependent exercise-induced anaphylaxis.   | J Eur Acad Dermatol Venereol | 29(4)    | 805-808   | 2015 |
| 120 | Sugiura K | 皮膚科 | Pustular psoriasis-like lesions associated with hereditary lactate dehydrogenase M-subunit deficiency without interleukin-36 receptor antagonist mutation: Long-term follow-ups of two cases. | Br J Dermatol                | 172 (6)  | 1674-1676 | 2015 |
| 121 | Akiyama M | 皮膚科 | Ichthyosis follicularis, atrichia, and photophobia syndrome associated with a new mutation in MBTPS2.   | Clin Exp Dermatol            | 40 (5)   | 529-532   | 2015 |
| 122 | Sugiura K | 皮膚科 | Essential role of the cytochrome P450 CYP4F22 in the production of acylceramide, the key lipid for skin permeability barrier formation.   | Proc Natl Acad Sci USA       | 112 (25) | 7707-7712 | 2015 |
| 123 | Sugiura K | 皮膚科 | Annular pustular psoriasis with a heterozygous IL36RN mutation.   | Eur J Dermatol               | 25 (4)   | 349-350   | 2015 |
| 124 | Sugiura K | 皮膚科 | Annular elastolytic giant cell granuloma successfully treated with minocycline hydrochloride.   | Acta Dermato-Venereol        | 95 (6)   | 756-757   | 2015 |
| 125 | Akiyama M | 皮膚科 | Familial primary localized cutaneous amyloidosis results from either dominant or recessive mutations in OSMR.   | Acta Dermato-Venereol        | 95 (8)   | 1005-1007 | 2015 |
| 126 | Sugiura K | 皮膚科 | Elderly-onset generalized pustular psoriasis without previous history of psoriasis vulgaris   | Case Reports Dermatol        | 7 (2)    | 187-193   | 2015 |

|     |           |       |   |                                |        |           |      |
|-----|-----------|-------|---|--------------------------------|--------|-----------|------|
| 127 | Akiyama M | 皮膚科   | Striate palmoplantar keratoderma: report of a novel DSG1 mutation and atypical clinical manifestations.   | J Dermatol Sci                 | 80 (3) | 223-225   | 2015 |
| 128 | Muro Y    | 皮膚科   | Serum thymus and activation-regulated chemokine (TARC/CCL17) levels reflect the disease activity in a patient with bullous pemphigoid.                                | J Eur Acad Dermatol Venereol   | 30 (2) | 327-328   | 2016 |
| 129 | Akiyama M | 皮膚科   | Autosomal dominant diffuse non-epidermolytic palmoplantar keratoderma due to a recurrent mutation in aquaporin-5.   | Br J Dermatol                  | 174(2) | 430-432   | 2016 |
| 130 | Muro Y    | 皮膚科   | Diversity of humoral responses to the centromere proteins among HCV-related chronic liver disease, PBC and AIH patients.  | Clin Res Hepatol Gastroenterol | 39(2)  | 222-9     | 2015 |
| 131 | Kono M    | 皮膚科   | Genetic analyses of oculocutaneous albinism types 2 and 4 with eight novel mutations.   | J Dermatol Sci.                | 81(2)  | 140-2     | 2016 |
| 132 | Ogawa Y   | 皮膚科   | Design and synthesis of a potent inhibitor of class 1 DYRK kinases as a suppressor of adipogenesis.   | Bioorg Med Chem                | 23(15) | 4434-4441 | 2015 |
| 133 | 曾根三千彦     | 耳鼻咽喉科 | Imaging of endolymphatic hydrops in 10 minutes; a new strategy to reduce scan time to one third   | Magn Reson Med Sci             | 14(1)  | 77-83     | 2015 |
| 134 | 曾根三千彦     | 耳鼻咽喉科 | Volume quantification of endolymph after intravenous administration of a single dose of gadolinium contrast agent: comparison of 18-versus 8-minute imaging protocols | Magn Reson Med Sci             | 14(4)  | 257-262   | 2015 |

|     |      |           |   |                               |       |           |      |
|-----|------|-----------|---|-------------------------------|-------|-----------|------|
| 135 | 藤本保志 | 耳鼻咽喉科     | Distinct phenotypes of speech and voice disorders in Parkinson's disease after subthalamic nucleus deep brain stimulation   | J Neurol Neurosurg Psychiatry | 86(8) | 856-864   | 2015 |
| 136 | 藤本保志 | 耳鼻咽喉科     | Multi-institutional retrospective study for the evaluation of ocular function-preservation rates in maxillary sinus squamous cell carcinomas with orbital invasion    | Head Neck                     | 37(4) | 537-542   | 2015 |
| 137 | 長縄慎二 | 放射線科/放射線部 | Cerumen impaction shown by brain magnetic resonance imaging in patients with cognitive impairment.  | Geriatr Gerontol Int.         | 16(3) | 392-395   | 2016 |
| 138 | 伊藤善之 | 放射線科/放射線部 | Clinical outcomes of radiotherapy for esophageal cancer between 2004 and 2008: the second survey of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG).              | Int J Clin Onco.              | 21(1) | 88-94     | 2016 |
| 139 | 伊藤善之 | 放射線科/放射線部 | Critical evaluation of a prospective study of concurrent chemoradiotherapy with s-1 for early glottic carcinoma.  | ANTICANCER RESEARCH.          | 35(4) | 2385-2390 | 2015 |
| 140 | 佐竹弘子 | 放射線科/放射線部 | Prediction of background parenchymal enhancement on breast MRI using mammography, ultrasonography, and diffusion-weighted imaging.                                    | Nagoya J Med Sci.             | 77(3) | 425-437   | 2015 |
| 141 | 田岡俊昭 | 放射線科/放射線部 | "Cerebellar peduncle quarter notes" formed by the superior and middle cerebellar peduncles: comparison with a diffusion tensor study of spinocerebellar degeneration. | Jpn J Radiol.                 | 33(4) | 210-215   | 2015 |

|     |       |           |   |   |        |           |      |
|-----|-------|-----------|---|---|--------|-----------|------|
| 142 | 田岡俊昭  | 放射線科/放射線部 | Dural Thickening of the Internal Auditory Canal in Patients With Spontaneous Intracranial Hypotension Syndrome.   | J Comput Assist Tomogr.                 | 40(2)  | 297-300   | 2016 |
| 143 | 岩野信吾  | 放射線科/放射線部 | The contact length between the tumor contour and the lung on computed tomography is a risk factor for pleural recurrence after complete resection of thymoma. | Gen Thorac Cardiovasc Surg.             | 63(6)  | 343-348   | 2015 |
| 144 | 鈴木耕次郎 | 放射線科/放射線部 | Living Donor Liver Transplantation Using a Liver Graft With Congenital Intrahepatic Portosystemic Shunt.  | Transplantation Direct.                 | 2(1)   | e46       | 2015 |
| 145 | 鈴木耕次郎 | 放射線科/放射線部 | Differentiation of focal-type autoimmune pancreatitis from pancreatic carcinoma: assessment by multiphase contrast-enhanced CT.                               | Eur Radio.                              | 25(5)  | 1366-1374 | 2015 |
| 146 | 二橋尚志  | 放射線科/放射線部 | Biomarkers Differentiating Dementia with Lewy Bodies from Other Dementias: A Meta-Analysis  | J Alzheimers Dis.                       | 50(1)  | 161-174   | 2015 |
| 147 | 石垣聡子  | 放射線科/放射線部 | Clinical significance of dual-energy CT-derived iodine quantification in the diagnosis of metastatic LN in colorectal cancer.                                 | Eur J Surg Oncol.                       | 41(11) | 1464-1470 | 2015 |
| 148 | 加茂前 健 | 放射線科/放射線部 | Comparison of Dose Accuracy between Film and Two-dimensional Detectors in Intensity-modulated Radiation Therapy.  | Journal of the Korean Physical Society. | 67(1)  | 89-95     | 2015 |

|     |           |           |  |  |                |                               |      |
|-----|-----------|-----------|--|--|----------------|-------------------------------|------|
| 149 | 加茂前 健     | 放射線科/放射線部 | Impact of the Vero4DRT (MHI-TM2000) on the Total Treatment Time in Stereotactic Irradiation.   | Journal of Nuclear Medicine & Radiation Therapy. | 6(4)           | doi:10.4172/2155-9619.1000238 | 2015 |
| 150 | 加茂前 健     | 放射線科/放射線部 | Dose impact of rectal gas on prostatic IMRT and VMAT.  | Japanese Journal of Radiology.                   | 33(12)         | 723-733                       | 2015 |
| 151 | 川村麻里子     | 放射線科/放射線部 | Application of High-Pressure Treatment to Enhancement of Functional Components in Agricultural Products and Development of Sterilized Foods. | Subcell Biochem.                                 | 72             | 567-589                       | 2015 |
| 152 | Katsuno M | 神経内科      | A small-molecule Nrf1 and Nrf2 activator mitigates polyglutamine toxicity in spinal and bulbar muscular atrophy.                             | Hum Mol Genet.                                   | pii:<br>ddw073 | Epub<br>ahead                 | 2016 |
| 153 | Katsuno M | 神経内科      | Association of Leukoaraiosis With Convalescent Rehabilitation Outcome in Patients With Ischemic Stroke.                                      | Stroke.  | 47(1)          | 160-6                         | 2016 |
| 154 | Katsuno M | 神経内科      | Head Lift Exercise Improves Swallowing Dysfunction in Spinal and Bulbar Muscular Atrophy.  | Eur Neurol.                                      | 74(5-6)        | 251-8                         | 2015 |
| 155 | Koike H   | 神経内科      | Uncompacted Myelin Lamellae and Nodal Ion Channel Disruption in POEMS Syndrome.  | J Neuropathol Exp Neurol.                        | 74(12)         | 1127-36                       | 2015 |
| 156 | Koike H   | 神経内科      | Immunoglobulin G4-related pathologic features in inflammatory neuropathies.  | Neurology.                                       | 85(16)         | 1400-7                        | 2015 |

|     |            |      |   |                             |         |         |      |
|-----|------------|------|---|-----------------------------|---------|---------|------|
| 157 | Ishigaki S | 神経内科 | Microglial keratan sulfate epitope elicits in central nervous tissues of transgenic model mice and patients with amyotrophic lateral sclerosis. | Am J Pathol.                | 185(11) | 3053-65 | 2015 |
| 158 | Katsuno M  | 神経内科 | Glycoprotein nonmetastatic melanoma protein B ameliorates skeletal muscle lesions in a SOD1G93A mouse model of amyotrophic lateral sclerosis.   | J Neurosci Res.             | 93(10)  | 1552-66 | 2015 |
| 159 | Ishigaki S | 神経内科 | A highly sensitive assay of IRE1 activity using the small luciferase NanoLuc: Evaluation of ALS-related genetic and pathological factors.       | Biochem Biophys Res Commun. | 463(4)  | 881-7   | 2015 |
| 160 | Nakamura T | 神経内科 | Impaired peripheral vasoconstrictor response to orthostatic stress in patients with multiple system atrophy.                                    | Parkinsonism Relat Disord.  | 21(8)   | 917-22  | 2015 |
| 161 | Ishigaki S | 神経内科 | Position-specific binding of FUS to nascent RNA regulates mRNA length.  | Genes Dev.                  | 29(10)  | 1045-57 | 2015 |
| 162 | Katsuno M  | 神経内科 | FUS regulates AMPA receptor function and FTLN/ALS-associated behaviour via GluA1 mRNA stabilization.  | Nat Commun.                 | 6       | 7098    | 2015 |
| 163 | Katsuno M  | 神経内科 | Alterations in the blood-spinal cord barrier in TDP-43 conditional knockout mice.   | Neurosci Lett.              | 598     | 1-5     | 2015 |
| 164 | Katsuno M  | 神経内科 | Androgen-dependent loss of muscle BDNF mRNA in two mouse models of SBMA.  | Exp Neurol.                 | 269     | 224-32  | 2015 |

|     |              |      |  |  |          |           |      |
|-----|--------------|------|--|--|----------|-----------|------|
| 165 | Ishigaki S   | 神経内科 | Transcriptional and post-transcriptional regulation of transmembrane protein 132A.   | Mol Cell Biochem.  | 405(1-2) | 291-9     | 2015 |
| 166 | Ito M        | 神経内科 | Variants associated with Gaucher disease in multiple system atrophy.   | Ann Clin Transl Neurol.  | 2(4)     | 417-26    | 2015 |
| 167 | Katsuno M    | 神経内科 | Astrocyte-derived TGF- $\beta$ 1 accelerates disease progression in ALS mice by interfering with the neuroprotective functions of microglia and T cells. | Cell Rep.  | 11(4)    | 592-604   | 2015 |
| 168 | Koike H      | 神経内科 | Clinicopathological features of sarcoidosis manifesting as generalized chronic myopathy.   | J Neurol.  | 262(4)   | 1035-45   | 2015 |
| 169 | Atsuta N     | 神経内科 | Factors affecting longitudinal functional decline and survival in amyotrophic lateral sclerosis patients.  | Amyotroph Lateral Scler Frontotemporal Degener.                    | 16(3-4)  | 230-6     | 2015 |
| 170 | Yuzuru Kamei | 形成外科 | Salvage surgery and microsurgical reconstruction for recurrence of skull base osteosarcoma after carbon ion radiotherapy.                                | Nagoya J Med Sci.  | 77(4)    | 667-73    | 2015 |
| 171 | Uchida H     | 小児外科 | An easy and safe technique for laparoscopic pyloromyotomy: Using a vascular clamp for stabilization of the pylorus                                       | Journal of laparoendoscopic & advanced surgical techniques. Part A | 25       | 1036-1039 | 2015 |
| 172 | Uchida H     | 小児外科 | Pediatric surgery  | Asian Journal of Endoscopic Surgery                                | 8        | 390-407   | 2015 |

|     |              |      |  |                              |        |  |      |
|-----|--------------|------|--|------------------------------|--------|--|------|
| 173 | Hinoki A     | 小児外科 | Evaluation of light scattering and absorption properties of in vivo rat liver using a single-reflectance fiber probe during preischemia, ischemia-reperfusion, and postmortem.                   | Journal of Biomedical Optics |        | 76010  | 2015 |
| 174 | Uchida H     | 小児外科 | Operative procedures of single-incision laparoscopic repair of pediatric epigastric hernia have become simple and feasible with the use of a novel suturing assistant needle                     | J Pediatr Surg case reports  | 4      | 22-26  | 2016 |
| 175 | Hinoki A     | 小児外科 | In vivo estimation of optical properties of rat liver using single-reflectance fiber probe during ischemia and reperfusion.  | Optical Review               |        | DOI<br>10.1007/<br>s10043<br>.015.017<br>1.9 | 2015 |
| 176 | Takeshita K  | 検査部  | Identification of a novel missense mutation (563G>a) in the ABO gene associated with a Bel phenotype.  | Transfusion                  | 56(5)  | 1242-3                                       | 2016 |
| 177 | Takeshita K  | 検査部  | Impact of Admission Anemia on Coronary Microcirculation and Clinical Outcomes in Patients With ST-Segment Elevation Myocardial Infarction Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention. | Int Heart J.                 | 56(4)  | 381-8  | 2015 |
| 178 | Takeshita K  | 検査部  | Impact of airflow limitation on carotid atherosclerosis in coronary artery disease patients.   | Respiration                  | 89(4)  | 322-8  | 2015 |
| 179 | Matsushita T | 輸血部  | [KRAS Genetic Mutation Analysis Using the Clinical FFPE Samples of Colorectal Carcinomas: Comparative Study among 5 Methods]   | Rinsho Byori                 | 63(10) | 1144-51                                      | 2015 |

|     |              |       |  |                            |         |         |      |
|-----|--------------|-------|--|----------------------------|---------|---------|------|
| 180 | Matsushita T | 輸血部   | Unfractionated Heparin during the Interruption of Antiplatelet Therapy for Non-cardiac Surgery after Drug-eluting Stent Implantation.  | Intern Med.                | 55(4)   | 333-7   | 2016 |
| 181 | Matsushita T | 輸血部   | [Acquired von Willebrand syndrome in a patient with immune thrombocytopenic purpura].  | Rinsho Ketsueki.           | 56(7)   | 901-4   | 2015 |
| 182 | Matsushita T | 輸血部   | The International Immune Tolerance Induction Study and its follow-up study on Japanese hemophilia A patients with inhibitors.  | Int J Hematol.             | 101(4)  | 362-8   | 2015 |
| 183 | 安藤雄一         | 化学療法部 | Optimal dose of gemcitabine for the treatment of biliary tract or pancreatic cancer in patients with liver dysfunction.  | Cancer Sci.                | 107(2)  | 168-72  | 2016 |
| 184 | 安藤雄一         | 化学療法部 | A subgroup analysis of Japanese patients in a phase 3 study of lenvatinib in radioiodine-refractory differentiated thyroid cancer.   | Cancer Sci.                | 106(12) | 1714-21 | 2015 |
| 185 | 安藤雄一         | 化学療法部 | Prophylactic use of antiemetics for prevention of opioid-induced nausea and vomiting: a questionnaire survey among Japanese physicians.  | J Palliat Med.             | 18      | 977-80  | 2015 |
| 186 | 安藤雄一         | 化学療法部 | Phase I trial of afatinib plus vinorelbine in Japanese patients with advanced solid tumors, including breast cancer.   | Cancer Chemother Pharmacol | 76(4)   | 739-50  | 2015 |
| 187 | 安藤雄一         | 化学療法部 | A phase II clinical trial of pegylated liposomal doxorubicin and carboplatin in Japanese patients with platinum-sensitive recurrent ovarian, fallopian tube, or primary peritoneal Cancer. | Jpn J Clin Oncol.          | 45(5)   | 422-6   | 2015 |

|     |                 |       |  |                             |         |         |      |
|-----|-----------------|-------|--|-----------------------------|---------|---------|------|
| 188 | 安藤雄一            | 化学療法部 | An internally and externally validated nomogram for predicting the risk of irinotecan-induced severe neutropenia in advanced colorectal cancer patients.               | Br J Cancer.                | 112(10) | 1709-16 | 2015 |
| 189 | 安藤雄一            | 化学療法部 | Extension of the Calvert formula to patients with severe renal insufficiency.  | Cancer Chemother Pharmacol. | 76(1)   | 53-9    | 2015 |
| 190 | 安藤雄一            | 化学療法部 | Effects of outside air temperature on the preparation of antineoplastic drug solutions in biological safety cabinets.  | J Oncol Pharm Pract.        | 21(4)   | 243-8   | 2015 |
| 191 | Kiyofumi Yamada | 薬剤部   | Heterozygous Disruption of Autism susceptibility candidate 2 Causes Impaired Emotional Control and Cognitive Memory.   | PLoS One                    | 10      | 12      | 2015 |
| 192 | Kiyofumi Yamada | 薬剤部   | Nobiletin, a citrus flavonoid, improves cognitive impairment and reduces soluble A $\beta$ levels in a triple transgenic mouse model of Alzheimer's disease (3XTg-AD). | Behav Brain Res             | 289     | 69-77   | 2015 |
| 193 | 大野栄三郎           | 消化器内科 | 混合型IPMNにおける悪性予測因子の検討   | 肝胆膵治療研究会誌                   | 13(1)   | 31-35   | 2015 |
| 194 | 佐藤淳一            | 消化器内科 | 当院でダブルバルーン内視鏡検査を施行した虚血性小腸炎の検討  | 消化と吸収                       | 37(2)   | 104-108 | 2015 |
| 195 | 川嶋啓揮            | 消化器内科 | 乳頭部腫瘍に対する内視鏡治療   | 胆道                          | 30(1)   | 37-42   | 2016 |

|     |          |                |  |                           |       |           |      |
|-----|----------|----------------|--|---------------------------|-------|-----------|------|
| 196 | 廣岡芳樹     | 光学医療診療部        | 膵石症の内視鏡治療ガイドライン2014  | 膵臓                        | 29(2) | 121-148   | 2015 |
| 197 | 廣岡芳樹     | 光学医療診療部        | 胆道癌に対するES・EUS診断  | 胆道                        | 29(2) | 189-197   | 2015 |
| 198 | 伊藤 恭彦    | 腎不全システム治療学寄附講座 | Vascular Endothelial Growth Factor Receptor-3(VEGFR-3)が、メチルグリオキサール惹起腹膜障害の腹膜機能不全の新たな治療ターゲットとなる      | 日本透析医会雑誌                  | 31(1) | 197-203   | 2015 |
| 199 | Komori K | 血管外科           | ステントグラフト分岐部へのガイドワイヤー挿入アシスト 能動力テール拍動血流負荷時の血流解析  | 日本ロボット学会誌                 |       |           | 2015 |
| 200 | 生田国大     | 整形外科           | 未成年者に生じた悪性末梢神経鞘腫瘍の検討   | 日本レックリングハウゼン病学会雑誌         | 6巻・1号 | 68-71     | 2015 |
| 201 | 西田佳弘     | 整形外科           | 【整形外科領域における移植医療】骨および軟骨に対する人工・生体材料、組織細胞移植の臨床成績 骨・軟部腫瘍への対応 骨・軟部腫瘍切除後の広範囲骨欠損に対する加温処理骨移植術 術後10年以上の長期成績 | 別冊整形外科                    | 68号   | 182-186   | 2015 |
| 202 | 大田剛広     | 整形外科           | 【整形外科領域における移植医療】骨および軟骨に対する人工・生体材料、組織細胞移植の臨床成績 骨・軟部腫瘍への対応 良性骨腫瘍掻爬後の骨欠損に対するハイドロキシアパタイト配向連通多孔体の短期治療成績 | 別冊整形外科                    | 68号   | 153-157   | 2015 |
| 203 | 小林 和克    | 整形外科           | 頸椎スクリュー使用時に生じた脊髄モニタリング波形悪化例の検討   | Journal of Spine Research | 6     | 1478-1481 | 2015 |

|     |       |      |  |                           |       |         |      |
|-----|-------|------|--|---------------------------|-------|---------|------|
| 204 | 山口 英敏 | 整形外科 | 術中3D画像ナビゲーションを用いた仙骨・腸骨スクリュー挿入の有用性                      | 東海脊椎外科                    | 29    | 22-27   | 2015 |
| 205 | 田中 智史 | 整形外科 | 腰椎除圧術後での再手術の発生率と危険因子の検討                                | Journal of Spine Research | 6     | 854-857 | 2015 |
| 206 | 山口 英敏 | 整形外科 | 腰椎変性すべり症に対するXLIFとPPSを用いた固定術による間接的除圧効果の検討               | Journal of Spine Research | 6     | 829-834 | 2015 |
| 207 | 門野泉   | 整形外科 | 一期的同側THA・TKAを施行し、脱臼リスクの管理に注意して介入した一例                   | 国立大学リハビリテーション療法士学術大会誌     | 36    | 36-40   | 2015 |
| 208 | 濱田恭   | 整形外科 | 人工膝関節置換術直後に発症した急性膝窩動脈閉塞症の1例                            | JOSKAS                    | 40巻2号 | 354-355 | 2015 |
| 209 | 平岩秀樹  | 整形外科 | 脛骨近位骨端線前方の早期閉鎖による反張膝に対し高位脛骨骨切り術(Open Wedge HTO)を施行した1例 | JOSKAS                    | 40巻2号 | 390-391 | 2015 |
| 210 | 平岩秀樹  | 整形外科 | 解剖学的前十字靭帯二重束再建術におけるダイレーションと骨孔拡大の関連性                    | JOSKAS                    | 40巻3号 | 783-786 | 2015 |
| 211 | 平岩秀樹  | 整形外科 | 足二分舟状骨の経過観察中に反対側の舟状骨疲労骨折を発症した1例                        | 日本整形外科学会スポーツ医学会雑誌         | 35巻3号 | 207-210 | 2015 |
| 212 | 平岩 秀樹 | 整形外科 | 変形性膝関節症の保存治療におけるトラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合剤の使用経験            | 日本関節病学会誌                  | 34巻2号 | 171-174 | 2015 |
| 213 | 平岩秀樹  | 整形外科 | 上腕骨2part外科頸骨折に対する骨接合術の成績不良の原因                          | 肩関節                       | 39巻3号 | 650-653 | 2015 |

|     |       |               |  |                |       |           |      |
|-----|-------|---------------|--|----------------|-------|-----------|------|
| 214 | 濱田 恭  | 整形外科          | 当院における人工膝関節置換術後、早期感染例の検討                         | 日本人工関節学会誌      | 45巻   | 561-562   | 2015 |
| 215 | 平岩 秀樹 | 整形外科          | PCL温存型TKAにおける脛骨骨切りがPCL機能に与える影響                   | 日本人工関節学会誌      | 45巻   | 475-476   | 2015 |
| 216 | 平岩 秀樹 | 整形外科          | PCLを温存したCS型TKAにおける術後可動域の検討                       | 日本人工関節学会誌      | 45巻   | 451-452   | 2015 |
| 217 | 酒井 忠博 | 整形外科          | 前十字靭帯損傷後早期に再建術を行った3例                             | JOSKAS         | 41巻1号 | 160-161   | 2015 |
| 218 | 平岩 秀樹 | 整形外科          | 前十字靭帯再建術周術期における抗生剤投与法について                        | JOSKAS         | 41巻1号 | 150-151   | 2015 |
| 219 | 平岩 秀樹 | 整形外科          | 膝前外側靭帯が前十字靭帯損傷膝における回旋不安定性に与える影響について 新鮮凍結屍体膝による調査 | JOSKAS         | 41巻1号 | 82-83     | 2015 |
| 220 | 津田弘之  | 産婦人科          | 妊娠中の便秘に対する酸化マグネシウムの安全性, 有効性についての検討               | 日本周産期・新生児医学会雑誌 | 51巻3号 | 960 - 964 | 2015 |
| 221 | 寺崎 浩子 | 眼科            | 臨床報告 斜視手術における抗凝固薬および抗血小板薬の影響                     | 臨床眼科           | 70巻3号 | 309-314   | 2016 |
| 222 | 寺崎 浩子 | 眼科            | 成人の複視の軽減を目的としたプリズム眼鏡処方前のフレネル膜プリズムの貸出し            | 日本視能訓練士協会誌     | 44巻   | 35-42     | 2015 |
| 223 | 尾崎紀夫  | 精神科・親と子どもの心療科 | 統合失調症・自閉スペクトラム症のゲノム解析からみたグリア病態                   | 生体の科学          | 66    | 579-83    | 2015 |
| 224 | 尾崎紀夫  | 精神科・親と子どもの心療科 | 遺伝と遺伝子研究を正しく理解する                                 | こころの科学         |       | 87-90     | 2015 |

|     |      |               |   |                       |     |         |      |
|-----|------|---------------|---|-----------------------|-----|---------|------|
| 225 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | うつ病のゲノム解析研究とその動向                          | 臨床精神医学                | 44  | 497-502 | 2015 |
| 226 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | 自閉スペクトラム症の遺伝学研究の最近の進歩                     | 細胞工学                  | 34  | 453-57  | 2015 |
| 227 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | 自閉スペクトラム症のゲノム研究と今後の展望                     | 臨床精神医学                | 44  | 1341-48 | 2015 |
| 228 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | 口腔領域の非器質性慢性疼痛の治療戦略と薬物療法                   | 臨床精神薬理                | 18  | 431-38  | 2015 |
| 229 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | 統合失調症                                     | 分子脳科学                 |     | 183-194 | 2015 |
| 230 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | 精神科臨床の課題解決をめざす人材の育成                       | 精神神経学雑誌               | 117 | 730-36  | 2015 |
| 231 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | 気分障害と自動車運転:疾患と治療薬が運転技能に及ぼす影響              | 臨床精神薬理                | 18  | 527-535 | 2015 |
| 232 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | 睡眠薬と自動車運転                                 | 睡眠医療                  | 9   | 33-40   | 2015 |
| 233 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | 自閉スペクトラム症の児童に対する応用行動分析に基づく介入              | Clinical Neuroscience | 33  | 206-10  | 2015 |
| 234 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | 精神医学のフロンティア<br>妊娠中、産後期の母子愛着における母親のうつ状態の影響 | 精神神経学雑誌               | 117 | 887-892 | 2015 |
| 235 | 尾崎紀夫 | 精神科・親と子どもの心療科 | 精神科領域における妊娠・授乳期への対応                       | Depression Strategy   | 5   | 4-7     | 2015 |

|     |       |               |  |  |          |           |      |
|-----|-------|---------------|--|--|----------|-----------|------|
| 236 | 尾崎紀夫  | 精神科・親と子どもの心療科 | シナプス機能から見た自閉スペクトラム症とその他精神疾患  | 実験医学   | 33       | 1389-94   | 2015 |
| 237 | 秋山 真志 | 皮膚科           | 日本皮膚科学会ガイドライン 膿疱性乾癬(汎発型)診療ガイドライン2014年度版                            | 日本皮膚科学会雑誌                                      | 125 (12) | 2211-2257 | 2015 |
| 238 | 室 慶直  | 皮膚科           | 【全身性強皮症とその鑑別疾患-より早期に、正確に診断するために】(Part3.) 血管障害を呈する疾患 (case 12) 皮膚筋炎 | Visual Dermatology                             | 15 (1)   | 66-67     | 2015 |
| 239 | 杉浦 一充 | 皮膚科           | 【手の皮膚病】<臨床例> ATP2A2遺伝子変異が同定されたDarier病孤発例                           | 皮膚病診療  | 37 (11)  | 1089-1092 | 2015 |
| 240 | 杉浦 一充 | 皮膚科           | 【毛髪関連疾患】臨床例 LIPH遺伝子変異により生じた先天性乏毛症                                  | 皮膚病診療  | 37 (4)   | 381-384   | 2015 |
| 241 | 室 慶直  | 皮膚科           | 抗核抗体陽性患者を紹介されたら？   | リウマチ・膠原病診療ハイグレード<br>リウマチ・膠原病の合併症や諸問題を解く<br>文光堂 |          | 2-11      | 2016 |
| 242 | 室 慶直  | 皮膚科           | 多発性筋炎・皮膚筋炎治療ガイドライン   | 多発性筋炎・皮膚筋炎治療ガイドライン<br>診断と治療社                   |          | 1-50      | 2015 |
| 243 | 河野通浩  | 皮膚科           | 色素失調症の男児例.   | 日本小児皮膚科学会雑誌                                    | 34       | 113-6     | 2015 |
| 244 | 長縄慎二  | 放射線科/放射線部     | MRIによる内リンパ水腫の診断  | 医学のあゆみ   | 255(7)   | 739-744   | 2015 |
| 245 | 伊藤善之  | 放射線科/放射線部     | がん治療における放射線治療の役割   | 健康文化   | 50       | 124-133   | 2015 |

|     |       |           |   |                 |            |               |      |
|-----|-------|-----------|---|-----------------|------------|---------------|------|
| 246 | 佐竹弘子  | 放射線科/放射線部 | マンモグラフィの診断的位<br>置づけ—最近の乳腺濃度<br>のとらえ方—                                 | 画像診断            | 35(12)     | 1365-<br>1372 | 2015 |
| 247 | 田岡俊昭  | 放射線科/放射線部 | 頭部疾患のMRI画像の進<br>歩   | 小児外科            | 47(5)      | 543-550       | 2015 |
| 248 | 田岡俊昭  | 放射線科/放射線部 | 頸部血管狭窄における頸<br>動脈ステント治療を見据え<br>たCT、MRIの有用性                            | 日獨医報            | 60(1)      | 31-45         | 2015 |
| 249 | 田岡俊昭  | 放射線科/放射線部 | CT/MRIでの灌流評価 A<br>to Z 2. MRIでのperfusion<br>imagingの現状                | 日獨医報            | 60(2)      | 20-32         | 2015 |
| 250 | 小池 春樹 | 神経内科      | 遺伝性ニューロパチーの<br>最近の進歩 遺伝性圧脆弱<br>性ニューロパチー(HNPP)<br>の臨床病理像と外科治療<br>の試み   | 末梢神経            | 26巻2号      | 163-166       | 2015 |
| 251 | 中村 友彦 | 神経内科      | パーキンソン病の非運動<br>症状 自律神経障害  | 日本医師会雑誌         | 144巻8<br>号 | 1616-<br>1618 | 2015 |
| 252 | 小池 春樹 | 神経内科      | アミロイドニューロパチー  | 末梢神経            | 26巻1号      | 15-24         | 2015 |
| 253 | 熱田 直樹 | 神経内科      | ALSとFTLDの研究・治療<br>の現在地を知る 分子病態<br>からみた筋萎縮性側索硬<br>化症と前頭側頭葉変性症<br>の治療戦略 | 神経治療学           | 32巻3号      | 299-303       | 2015 |
| 254 | 亀井 譲  | 形成外科      | 【All about 頭頸部再建-多<br>彩な皮弁を使いこなす!】<br>頭頸部再建の実際 頭蓋<br>底・上顎再建(解説/特集)    | 耳鼻咽喉科・頭頸部<br>外科 | 87(7)      | 524-7         | 2015 |
| 255 | 鳥山和宏  | 形成外科      | 【整形外科におけるマイク<br>ロサージャリーの進歩】感<br>染症治療 遊離大網移植<br>による骨髄炎治療(解説/<br>特集)    | 整形・災害外科         | 58(5)      | 651-6         | 2015 |

|     |      |            |  |                            |      |       |      |
|-----|------|------------|--|----------------------------|------|-------|------|
| 256 | 内田広夫 | 小児外科       | 新生児・乳児領域における内視鏡手術の展開 当院における胸腔鏡下食道閉鎖症根治術・胸腔鏡下肺切除の経験と今後の展開                 | 日本周産期・新生児医学会雑誌             | 51   | 9-11  | 2015 |
| 257 | 内田広夫 | 小児外科       | 新生児・乳児領域における内視鏡手術の展開 本邦における胸腔鏡下食道閉鎖症手術の現況 多施設からのアンケート結果より                | 日本周産期・新生児医学会雑誌             | 51   | 6-8   | 2015 |
| 258 | 岩月克之 | 手の外科       | 手根管開放術前後におけるHand20とthe disabilities of the arm, shoulder and handの反応性の比較 | 臨床雑誌 整形外科                  | 66・4 | 385   | 2015 |
| 259 | 土川洋平 | リハビリテーション部 | 大血管手術では術前認知機能はICU-acquired delirium発症に関連する                               | 日本集中治療医学会雑誌                | 23・1 | 28-33 | 2016 |
| 260 | 勝呂 咲 | リハビリテーション部 | 右肩甲骨悪性腫瘍により肩甲骨全摘出術を施行した後に利き手での食事が可能となった超高齢者の1例                           | 第37回 国立大学リハビリテーション療法士学術大会誌 | 37   | 34-39 | 2015 |
| 261 | 加藤博史 | 薬剤部        | がん疼痛患者におけるトラマドールの使用実態調査とその有用性の検討   | 医療薬学                       | 42・2 | 69-77 | 2016 |

計 261件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

|   |        |
|---|--------|
| ① 倫理審査委員会の設置状況  | 有・無    |
| ② 倫理審査委員会の手順書の整備状況  | 有・無    |
| ・ 手順書の主な内容<br>倫理委員会業務（利益相反マネジメント、試料等の保管、対応表の管理、有害事象、審査受託、教育等）及び 研究者の申請についての手順・方法等 |        |
| ③ 倫理審査委員会の開催状況  | 年 25 回 |

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

|                                       |        |
|---------------------------------------|--------|
| ① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況 | 有・無    |
| ② 利益相反の管理に関する規定の整備状況                  | 有・無    |
| ・ 規定の主な内容<br>利益相反の定義、教職員等の責務、委員会の組織等  |        |
| ③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況 | 年 12 回 |

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

|  |       |
|--|-------|
| ① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況  | 年 8 回 |
| ・ 研修の主な内容<br>臨床研究を実施するための心構え、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について、研究公正性を確保するために何をすべきか、臨床介入研究と患者申出療養制度等 |       |

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科に所属して、初期研修によって習得された基本的診療能力に上乗せされる、医師としての総合的診療能力の習得に加えて、当該診療科で実施されている先進的な医療に特化した研修を行うことで、医師としての広くかつ専門的経験を蓄積しながら、専門医資格の取得等を目指す後期研修を実施している。

2 研修の実績

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 研修医の人数 | 124 | 人 |
|--------|-----|---|

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

| 研修統括者氏名 | 診療科       | 役職等 | 臨床経験年数 | 特記事項 |
|---------|-----------|-----|--------|------|
| 伴 信太郎   | 総合診療科     | 教授  | 37 年   |      |
| 葛谷 雅文   | 老年内科      | 教授  | 33 年   |      |
| 清井 仁    | 血液内科      | 教授  | 30 年   |      |
| 室原 豊明   | 循環器内科     | 教授  | 31 年   |      |
| 有馬 寛    | 糖尿病・内分泌内科 | 教授  | 28 年   |      |
| 丸山 彰一   | 腎臓内科      | 教授  | 27 年   |      |
| 勝野 雅央   | 神経内科      | 教授  | 21 年   |      |
| 榑野 正人   | 消化器外科一    | 教授  | 37 年   |      |
| 小寺 泰弘   | 消化器外科二    | 教授  | 31 年   |      |
| 古森 公浩   | 血管外科      | 教授  | 34 年   |      |
| 小倉 靖弘   | 移植外科      | 教授  | 25 年   |      |
| 菊森 豊根   | 乳腺・内分泌外科  | 講師  | 27 年   |      |
| 碓氷 章彦   | 心臓外科      | 教授  | 35 年   |      |
| 横井 香平   | 呼吸器外科     | 教授  | 38 年   |      |
| 亀井 譲    | 形成外科      | 教授  | 31 年   |      |
| 内田 広夫   | 小児外科      | 教授  | 27 年   |      |
| 西脇 公俊   | 麻酔科       | 教授  | 32 年   |      |
| 伊藤 嘉規   | 小児科       | 准教授 | 24 年   |      |
| 吉川 史隆   | 産科婦人科     | 教授  | 35 年   |      |
| 尾崎 紀夫   | 精神科       | 教授  | 34 年   |      |
| 石黒 直樹   | 整形外科      | 教授  | 36 年   |      |
| 寺崎 浩子   | 眼科        | 教授  | 36 年   |      |
| 秋山 真志   | 皮膚科       | 教授  | 30 年   |      |
| 後藤 百万   | 泌尿器科      | 教授  | 36 年   |      |
| 曾根 三千彦  | 耳鼻いんこう科   | 教授  | 29 年   |      |
| 長縄 慎二   | 放射線科      | 教授  | 29 年   |      |

|       |                     |    |      |
|-------|---------------------|----|------|
| 若林 俊彦 | 脳神経外科               | 教授 | 35 年 |
| 松田 直之 | 救急科                 | 教授 | 23 年 |
| 日比 英晴 | 歯科口腔外科              | 教授 | 29 年 |
| 中村 栄男 | 病理部                 | 教授 | 37 年 |
| 八木 哲也 | 中央感染制御部             | 教授 | 28 年 |
| 安藤 雄一 | 化学療法部               | 教授 | 26 年 |
| 植村 和正 | 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター | 教授 | 33 年 |

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【看護部】

看護部では、論理的思考過程を養い、専門職として自律し、主体的な看護活動ができる看護師の育成を目指し研修、教育を実施している。

新人には卒後臨床研修制度を導入し、外科、内科の2部署をローテーションすることで、確実な知識と技術を習得し、実践ができる看護師の育成を目指している。

また、フィジカルアセスメントを中心としたsaving lifeナース育成プログラムを実施し、患者の変化に早期に気づき、早期患者の回復に向けた看護実践ができる看護師の育成を目指している。

【医療技術部】

・これからの医療技術職に必要とされるもの～医療技術者が参画する病院経営の見える化～

・研修の期間・実施回数

【看護部】

・44のプログラム、延べ24427時間

【医療技術部】

・平成28年3月4日 1回

・研修の参加人数

【看護部】

・延べ4205名

【医療技術部】

・81名

|   |
|---|
| ② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容</li> <li>【臨床研究セミナー】<br/>臨床研究を担う人材の育成を目的とし、先端医療・臨床研究支援センターが毎月1,2回程度開催している。臨床研究に従事する職員（医師及び歯科医師も含む）、研究者、大学院生等を対象としている。講習内容は毎回異なり、法規、知財、モニタリング等、多岐に渡るテーマでセミナーを実施している。</li> <li>・研修の期間・実施回数<br/>1セミナーにつき1時間半。<br/>平成27年度はのべ22回開催した。（DVD上映でのセミナー9回を含む）</li> <li>・研修の参加人数<br/>平成27年度はのべ2,223名が受講した。（DVDでの受講者650名を含む）</li> </ul> |
| ③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容</li> <li>・研修の期間・実施回数</li> <li>・研修の参加人数</li> </ul>   |

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

|         |  |
|---------|--|
| 計画・現状の別 | 1. 計画 ②. 現状  |
| 管理責任者氏名 | 病院長 石黒 直樹  |
| 管理担当者氏名 | 副病院長、医療の質・安全管理部長 長尾 能雅<br>病院長補佐、メディカルITセンター長 白鳥 義宗<br>病院長補佐、薬剤部長 山田 清文<br>総務課長 仲井 精一<br>医事課長 金永 博行 |

|                        |                    | 保管場所                                       | 管理方法                      |            |
|------------------------|--------------------|--|---------------------------|------------|
| 診療に関する諸記録              | 規則第二十一条の三第二項に掲げる事項 | 病院日誌                                       | 総務課                       |            |
|                        |                    | 各科診療日誌                                     | 中央管理                      |            |
|                        |                    | 処方せん                                       | 中央管理                      |            |
|                        |                    | 手術記録                                       | 中央管理                      |            |
|                        |                    | 看護記録                                       | 中央管理                      |            |
|                        |                    | 検査所見記録                                     | 中央管理                      |            |
|                        |                    | エックス線写真                                    | 中央管理                      |            |
|                        |                    | 紹介状  | 中央管理                      |            |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録       | 規則第二十一条の三第二項に掲げる事項 | 従業者数を明らかにする帳簿                              | 人事労務課                     |            |
|                        |                    | 高度の医療の提供の実績                                | 医事課                       |            |
|                        |                    | 高度の医療技術の開発及び評価の実績                          | 経営企画課, 医事課                |            |
|                        |                    | 高度の医療の研修の実績                                | 人事労務課                     |            |
|                        |                    | 閲覧実績                                       | 総務課, 医事課                  |            |
|                        |                    | 紹介患者に対する医療提供の実績                            | 医事課                       |            |
|                        | 掲げる事項              | 規則第一条の十一第一項に                               | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医事課, 薬剤部   |
|                        |                    |  | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況      | 医療の質・安全管理部 |
| 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況  |                    |  | 医療の質・安全管理部                |            |
| 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 |                    |  | 医療の質・安全管理部                |            |
|                        |                    | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医療の質・安全管理部                |            |

・疾病分類  
ICD-10

・管理形態  
外来カルテ・入院カルテ  
1患者1電子カルテで  
中央管理(一部紙媒体にて保存)

・持ち出しに関する取扱い  
エックス線写真の持ち出しは、名古屋大学医学部附属病院病歴等管理要項第12及び第13のとおり取扱いとする。(別添参照)

|                  |   | 保管場所  | 管理方法         |
|------------------|---|---|--------------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第一条の十一  | 院内感染対策のための指針の策定状況   | 医療の質・安全管理部   |
|                  | 第二条   | 院内感染対策のための委員会の開催状況  | 医療の質・安全管理部   |
|                  | 第三条   | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況  | 医療の質・安全管理部   |
|                  | 第四条   | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況                             | 医療の質・安全管理部   |
|                  | 第五項   | 医薬品安全管理責任者の配置状況   | 薬剤部          |
|                  | 第六号   | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況  | 薬剤部          |
|                  | 第七号   | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況                              | 薬剤部          |
|                  | 第八号   | 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部          |
|                  | 第九号   | 医療機器安全管理責任者の配置状況  | 経理課          |
|                  | 第十号   | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況   | 経理課, 臨床工学技術部 |
|                  | 第十一号  | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況   | 経理課, 臨床工学技術部 |
| 第十二号             | 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 経理課, 臨床工学技術部  |              |

|  |                               | 保管場所                                      | 管理方法        |
|--|-------------------------------|---|-------------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録                                 | 規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項 | 医療安全管理責任者の配置状況                            | 医療の質・安全管理部  |
|  |                               | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況                        | 医療の質・安全管理部  |
|  |                               | 医薬品安全管理責任者の業務実施状況                         | 薬剤部         |
|  |                               | 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況                 | 医療の質・安全管理部  |
|  |                               | 診療録等の管理に関する責任者の選任状況                       | メディカルITセンター |
|  |                               | 医療安全管理部門の設置状況                             | 医療の質・安全管理部  |
|  |                               | 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況                |             |
|  |                               | 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況        |             |
|  |                               | 監査委員会の設置状況                                |             |
|  |                               | 入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況               | 医療の質・安全管理部  |
|  |                               | 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況        |             |
|  |                               | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況        | 医療の質・安全管理部  |
|  |                               | 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況 | 監査室         |
| 職員研修の実施状況  | 医療の質・安全管理部                    |   |             |
| 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況 |                               |   |             |

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

|   |                |       |
|---|----------------|-------|
| 計画・現状の別   | 1. 計画          | 2. 現状 |
| 閲覧責任者氏名   | 総務課長 仲井精一      |       |
| 閲覧担当者氏名   | 総務課病院事務係長 若山裕司 |       |
| 閲覧の求めに応じる場所   | 総務課            |       |
| 閲覧の手続の概要  |                |       |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録は、公文書等の管理に関する法律の規定に基づき、保有する法人文書ファイルとして、名称、保存期間、文書管理者、保存場所、その他の事項を記載した法人文書ファイル管理簿を作成し、一般の閲覧に供するとともに、公表しています。 |                |       |

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

|           |        |     |
|-----------|--------|-----|
| 前年度の総閲覧件数 | 延      | 0件  |
| 閲覧者別      | 医師     | 延 件 |
|           | 歯科医師   | 延 件 |
|           | 国      | 延 件 |
|           | 地方公共団体 | 延 件 |

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|  |        |
|--|--------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況   | 有・無    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 安全管理に関する基本的な考え方</li><li>・ 組織に関する基本的事項</li><li>・ 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針</li><li>・ 患者安全体制と事故発生時の対応</li><li>・ 医療システムの質改善</li><li>・ 患者との間の情報共有に関する基本方針</li><li>・ 患者からの相談等への対応に関する基本方針</li></ul></li></ul>  |        |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況   |        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 設置の有無 ( 有・無 )</li><li>・ 開催状況：年 17 回</li><li>・ 活動の主な内容：<p>医療事故発生の防止に努め、かつ、発生した医療事故への適切な対応及び病院全体の医療の質向上を積極的に図る。<br/>これらの活動のため次の事項を審議する。</p><ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項</li><li>・ 医療上の紛争処理に関する事項</li><li>・ 医療の質向上に関する事項</li></ul></li></ul>   |        |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況   | 年 32 回 |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全職員、外注業者を対象として、「Rapid Response System Update」「新しい医療事故調整度について」「世界に通じるいい病院を目指そう」等をテーマとした研修を実施</li><li>・ TeamSTEPS 研修を計 9 回実施し、約 500 名が受講した。</li><li>・ 新規・中途採用職員を対象として、採用時に医療安全ポケットマニュアルの内容について研修を実施</li><li>・ 平成 28 年度からは、各種会議で医療の質・安全管理部から周知した重要伝達事項について、各職員の理解度を確認するために、簡易なテストを実施し、解説を行っている。</li></ul><p>※上記実施状況は会場にて実施した回数 (DVD 貸出及び eラーニング受講は除く)</p></li></ul> |        |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況   |        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各部門とのインシデント検討会にて報告事例を審議し、改善に結びつける。</li><li>・ 重大事故に関しては外部委員主導の事故調査委員会などを開催し、そこで得られた分析結果や提言を踏まえ、再発防止に結びつける。</li><li>・ 他職種が関連した事例等については、カンファレンス形式による検討会を開催し、改善に活かしている。</li><li>・ Structure、Process、Measure、Education、Assessment の 5 グループから</li></ul></li></ul>  |        |

成る病院質向上推進本部を設置し、業務の質改善に取り組む。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

|   |        |
|---|--------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況   | 有・無    |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>・ 院内感染対策のための委員会と組織</li><li>・ 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する事項</li><li>・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>・ 病院感染リスクアセスメントに基づいた感染対策の立案</li></ul>   |        |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況  | 年 12 回 |
| <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>院内感染の防止に努めるとともに、発生した感染事例について適切な対応を図る。<br/>これらの活動のため、次の事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内感染の予防及び対策等に関する事項</li><li>・ 患者の取扱いに関する事項</li><li>・ 医療従事者への感染予防に関する事項</li><li>・ その他院内感染及び難治感染症対策に関する事項</li></ul>  |        |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況  | 年 22 回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 全職員、清掃業務従事者及び廃棄物運搬・収集業務従事者を対象として、「感染対策の基本」、「感染対策について」、「インフルエンザ・ノロウイルス感染症対策について／多剤耐性アシネトバクター集団発生事例で学んだこと」、「院内感染対策について」等をテーマとした研修を実施</li><li>・ 新規・中途採用職員を対象として、採用時に「針刺し・血液曝露時の対応」などをテーマとした研修を実施</li></ul> <p>※上記実施状況は会場にて実施した回数（DVD貸出及びeラーニング受講は除く）</p>   |        |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況   |        |
| <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>全病棟と外来、部門を対象に感染対策の知識、手指衛生などの感染対策の実施状況、環境整備のチェックを中心としたICTラウンドの実施</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ MRSA新規検出症例数の独自介入基準を設け、基準に合致した部署に対して手指衛生観察巡回などを実施し、感染対策の強化を図っている</li><li>・ NICU、MICUとの定期的なミーティング</li><li>・ 抗菌薬適正使用の推進を目的とした薬剤部とのミーティング</li><li>・ 診療科横断的な感染症症例コンサルテーションと血液培養陽性例への介入</li><li>・ 4職種の実務的メンバーによるICTコアミーティングを週1回行い、全病的に感染対策が漏れなく実施されるよう検討・管理している</li></ul> |        |

( (様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る  
措置

|  |       |
|--|-------|
| ① 医薬品安全管理責任者の配置状況  | (有)・無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況   | 年 4回  |
| <p>・ 研修の主な内容 :</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 全職員を対象とした医薬品の安全使用に係る研修 (内用・外用麻薬の保管管理について) を実施した。</li><li>・ 全職員を対象とした医薬品の安全使用に係る研修 (麻薬の適正な管理について) を実施した。</li><li>・ 新任看護師を対象とした研修 (薬剤管理①、薬剤管理②) を実施した。</li><li>・ 研修医を対象とした研修 (薬剤安全プログラム・麻薬の取り扱いについて) を実施した。</li></ul>   |       |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況   |       |
| <p>・ 手順書の作成 ( (有)・無 )</p> <p>・ 業務の主な内容 :</p> <p>医薬品の採用・購入に関する事項、医薬品の管理に関する事項、患者に対する投薬指示から調剤に関する事項、患者に対する与薬や服薬指導に関する事項、医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項、危険薬の取り扱い、他施設との連携に関する事項、適応外、禁忌等の処方に係る確認および指導に関する事項、医薬品の安全使用のための業務手順書に基づく業務の遂行に関する事項</p>  |       |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況  |       |
| <p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( (有)・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容 :</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内で収集されたインシデント報告等から業務またはマニュアルを見直している。</li><li>・ 薬剤部のクオリティー&amp;セーフティマネジャーおよび病棟担当薬剤師が、診療科 (部)、病棟、中央診療施設などにおいて、医療の質・安全管理部と連携して、各部署内における医薬品の安全管理に関する指導を行っている。</li><li>・ 医薬品に係る適正使用に関する情報や副作用情報を薬事委員会や医療の質向上と安全推進委員会等で報告している。</li><li>・ 必要に応じて薬品情報室から安全使用のための情報を文書にて各病棟、外来診療科、その他の部署に配布するとともにメールにて配信している。さらに、電子カルテのDI参照のお知らせ画面、薬剤部ウェブサイトにも安全使用のための情報を掲載し職員への周知徹底に努めている。</li><li>・ 重要度の高い情報については、電子カルテのトップページや院内広報：薬剤部ページにも掲載している。</li></ul> |       |

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|  |     |
|--|-----|
| ① 医療機器安全管理責任者の配置状況   | 有・無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況  | 随時  |
| <p>研修の主な内容:</p> <p>(定期的実施)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>呼吸サポートチームによる人工呼吸器セミナーを年3回開催。</li><li>人工呼吸器・除細動器など特に安全使用に際して技術の習得が必要と考えられる機器に関して、医療機器・材料安全管理室が定期的に研修を実施。</li><li>放射線部門にて直線加速器と放射線照射装置に関する年2回の定期研修を実施。</li><li>その他の医療機器についても各部署にて定期的に勉強会を実施。</li></ul> <p>(随時実施)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>新規機器導入時や仕様変更時における機器の取扱講習会の実施。</li><li>新卒者のオリエンテーションにて、医療機器の安全使用のための研修を実施。</li><li>研修医や看護師を対象に臨床工学技士による勉強会の実施。</li></ul>  |     |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況  |     |
| <ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る計画の策定 (有・無)</li><li>保守点検の主な内容:<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器・材料安全管理室にて医療機器の管理を医療機器管理ソフトにて行っており、購入日・使用場所・保守点検状況等の管理を行っている。</li><li>臨床工学技士が生命維持管理装置(人工心肺・血液浄化・不整脈・心臓カテーテル・OPE・ICU関連)の操作・保守点検・管理を行っている。</li><li>院内での定期点検は電気安全解析装置などのシミュレーターを用いて実施している。また交換パーツについてはメーカー講習会を受講したものについては、供給を受けて院内で行っている。</li><li>ダヴィンチやX線撮影装置など保守契約を結んでいるものについては、機器の空き状況を確認し実施している。</li><li>手術室に常駐して医療機器の日常点検や不具合発生時の対応などを行う、医療機器保守管理業務契約を締結している。</li><li>その他医療機器についても、必要に応じ定期点検等の保守契約を結んでいる。</li></ul></li></ul> |     |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集<br>その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |     |
| <ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li><li>その他の改善のための方策の主な内容:<p>PMDAや日本臨床工学技士会からの安全情報の収集、またメーカーや納入業者からの報告を受理し、MLCEニュースやMDI通知メール、電子カルテに掲載するなど電子媒体を利用して関連部署での情報共有を実施している。</p></li></ul>   |     |

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

|   |          |
|---|----------|
| ① 医療安全管理責任者の配置状況  | 有・無      |
| <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者（副病院長医療安全担当 長尾能雅教授）を配置しており、医療の質・安全管理部長（長尾能雅教授）、医療の質向上と安全推進委員会委員長（長尾能雅教授）、医薬品安全管理責任者（病院長補佐、薬剤部長 山田清文教授）及び医療機器安全管理責任者（副病院長 小寺泰弘教授）を統括している。</p>  |          |
| ② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況  | 有（15名）・無 |
| <p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報は、整理した上で薬事委員会月例報告として月 1 回院内へ周知している。周知状況の確認については、昨年 8 月から各診療科の薬事委員が周知完了報告を薬剤部薬品情報室に提出することにより行うこととした。また、本年 6 月から薬事委員会にて周知完了報告状況を報告することとした。これらの手順については、本年 9 月に「医薬品の安全使用のための業務手順書」に追記し、明確化した。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>（適応外）</p> <p>適応外については、薬品情報室が治験審査委員会で承認した適応外使用医薬品を「適応外投与（承認）一覧」として部内に配信し情報を共有している。薬剤師は処方監査時に適応外使用を把握した場合は、患者への説明及びカルテへの記載が必要であること、治験審査委員会への申請が必要であることを医師に指導して記録を残している。</p> <p>（禁忌）</p> <p>禁忌処方をチェックするシステムは、薬剤部門システム上にあり処方せんの下部にアラートが印字されるようになっている。薬剤師は処方監査時にこのアラート情報を確認し、個別に医師へ連絡し、当該医師の対応方針を確認した後に記録を残している。</p> <p>これらの手順については、本年 9 月に「医薬品の安全使用のための業務手順書」に追記し、明確化した。</p> <p>（未承認薬）</p> <p>未承認薬は治験審査委員会へ申請し承認を得た上で使用されている。また、不特定多数を対象とする申請、院内製剤については、年度末に実施状況を報告している。さらに、必要に応じて副作用報告</p> |          |

や個別の経過報告を行っている。未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門については、未承認薬を審査している治験審査委員会を基礎にして体制の見直しを行い、平成 29 年 3 月までに部門を設置する予定である。

・担当者の指名の有無 (有)・無)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

(有)・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する  
規程の作成の有無 (有)・無)

・規程の主な内容：

目的、方針、適応範囲、定義、役割と責任、遵守と監視、手順（説明と同意の種類、説明と同意の確認のプロセス、説明・同意書の文書様式、説明及び同意に関し問題が起こった場合、等

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

(有)・無

・活動の主な内容：

診療録等の記載内容等の確認を定期的に行い、委員会で医師等へ報告をしています。また、十分でない事例が認められる場合は、当該医師へ必要な指導を行うとともに、各部署等に通知等をしてい

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

(有)・無

・所属職員：専従（7）名、専任（1）名、兼任（6）名

うち医師：専従（2）名、専任（1）名、兼任（3）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名

うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

・活動の主な内容：

・治療中の不測のトラブル等に対し、病院全体で対応できる治療体制の構築

・全部門からのインシデント情報の集積と分析、事故予防策の検討

・医療事故等に対する第三者による客観的事例調査、原因究明と再発防止策の指導

・院内の各種安全マニュアル、標準対応指針などの策定、各部門との連携

・院内研修、学生教育による安全意識やノンテクニカルスキルの高い医療者の育成、安全文化の醸成



・委員の選定理由の公表の有無（有・無）

・公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

| 氏名 | 所属 | 委員長<br>(○を付す) | 選定理由 | 利害関係 | 委員の要件<br>該当状況 |
|----|----|---------------|------|------|---------------|
|    |    |               |      | 有・無  |               |

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容

本年 10 月より実施する。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ）・無）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ）・無）
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

地域連携・患者相談センター：相談窓口にて一次対応を行っている。

安全管理に関連する事案については、医療の質・安全管理部と連携しながら適切に応じる体制を整えている。

各種相談については、担当者が対応。

地域連携・患者相談センター：相談員 3 名、MSW11 名、看護師 10 名

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ・全職員、外注業者を対象として、「Rapid Response System Update」「新しい医療事故調整度について」「世界に通じるいい病院を目指そう」等をテーマとした研修を実施
- ・TeamSTEPPS 研修を計 9 回実施し、約 500 名が受講した。
- ・新規・中途採用職員を対象として、採用時に医療安全ポケットマニュアルの内容について研修を実施
- ・平成 28 年度からは、各種会議で医療の質・安全管理部から周知した重要伝達事項について、各職員の理解度を確認するために、簡易なテストを実施し、解説を行っている

※上記実施状況は会場にて実施した回数（DVD 貸出及び e ラーニング受講は除く）  
なお、既に実施している研修時の学習効果の測定機能を強化するとともに、研修内容を見直し必要な項目を追加する予定である。  
また、平成 28 年 9 月実施予定の中期医療安全研修において、インフォームドコンセントに関するルールを講義予定である。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

|  |     |
|--|-----|
| ① 病院の機能に関する第三者による評価の有無   | 有・無 |
| <p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>公益財団法人 日本生産性本部 日本版医療MB賞クオリティクラブ (JHQC)</p> <p>平成28年7月19日から平成31年7月31日までです。</p> |     |

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

|  |     |
|--|-----|
| ① 果たしている役割に関する情報発信の有無  | 有・無 |
| <p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>1. 附属病院における臨床研究成果を①名古屋教育記者会会員15社へFax、記者会見を通じて、プレスリリースを行い、②医学系研究科ホームページに研究トピックスとして掲載し、広く学外</p> <p>・院外に向けて情報発信している。</p> <p>2. 診療内容・医療サービスや診療実績等の医療情報について、附属病院ホームページにおいて公開している。</p> <p>3. 患者や地域向けに広報誌を作成し、広く頒布している。また、一般市民を対象とした公開講座を毎年度開催し、地域市民に向けた教育・啓発活動にも取り組んでいる。</p> |     |

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

|  |     |
|--|-----|
| ① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無   | 有・無 |
| <p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>ア. 補助人工心臓を用いた重症心不全治療…心臓外科、循環器内科、ICU、麻酔科、精神科の診療</p> |     |

科の他に、看護師、臨床工学技士、理学療法士（心臓リハビリ）、臨床心理士、栄養管理部、薬剤部が合同して患者管理を行っています。

イ. 肝臓移植はチーム医療で行っている。（図1）

ウ. 神経線維腫症I型患者に対して、15歳までと15歳以降に分け、それぞれ基本的に診療を担当する科を決め、他は症状に合わせて診療科を決めるシステムを構築した。15歳までの診療システムを示す。（図2）

エ. 大動脈疾患における人工血管治療とステント治療の同時ハイブリッド手術…心臓外科と血管外科が合同して手術を行っている。

図1

### 移植とチーム医療

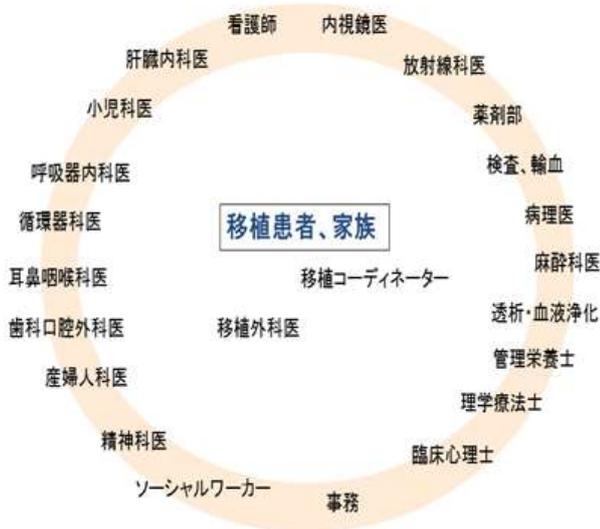
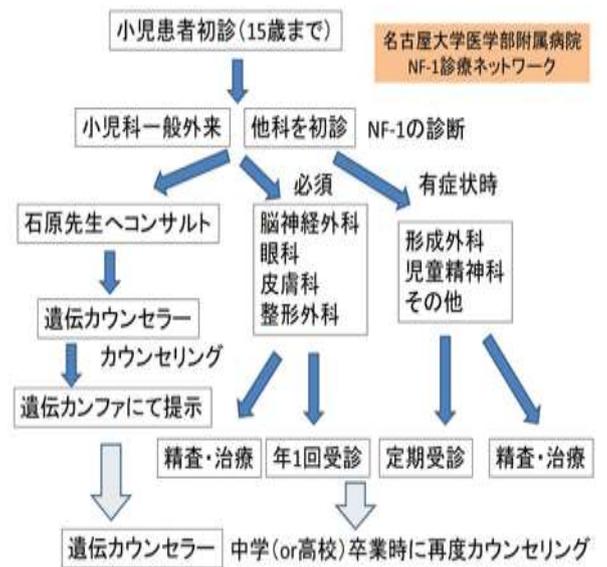


図2



## 名古屋大学医学部附属病院病歴等管理要項

(趣旨)

第1 名古屋大学医学部附属病院（以下「病院」という。）における病歴等の管理については、この要項の定めるところによる。

(目的)

第2 病歴等の管理は、医学部、大学院医学系研究科及び本院（以下「病院等」という。）における診療・教育及び研究に資することを目的とする。

(定義)

第3 この要項において病歴等とは、本院の患者に係る診療録、X線フィルム及びそれらの付属書類（以下「診療録等」という。）をいう。

(退院時要約の作成)

第4 全診療科において医師は、全退院患者についての退院時要約を作成する。

2 退院時要約の作成は、退院後14日以内とする。

(プライバシーの確保)

第5 病院等の職員及び診療録等の閲覧又は貸出（以下「閲覧等」という。）を希望する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 診療情報の秘密保護に関する事項
- 二 患者情報等の秘密保護に関する事項
- 三 複写の禁止に関する事項
- 四 データの保護に関する事項
- 五 その他診療録等の情報管理に関する事項

(診療録等の管理区分)

第6 診療録等の管理は、メディカルITセンター病歴管理部門（以下「病歴管理部門」という。）が行う。ただし、通院中の外来患者に係る電子媒体に記録された診療録以外の診療録等（以下「外来診療録等」という。）は病歴管理部門が管理し、入院中の患者に係る電子媒体に記録された診療録以外の診療録等は、各病棟が管理する。

2 電子媒体上に記録されていない、他院で記載された診療情報提供書等の診療情報及び本院において指定用紙等に記載された、証明書等（診断書、証明書、同意書等）については、電子媒体上に取込み後、原本を保管する。

(診療録等の管理責任者)

第7 診療録等を適正に管理するため、診療録等管理責任者（以下「管理責任者」という。）を置き、メディカルITセンター長をもって充てる。

(診療録等の保存)

第8 診療録等の保存期間は、次のとおりとする。

- 一 外来診療録、入院診療録等 受診した診療科の最終受診日から5年間
- 二 診療録等をマイクロフィルム化及び電子化したもの 永久

2 診療録等の保管方法及び保存期間を経過した診療録の取扱いについては別に定める。

(診療録等の閲覧及び貸出)

第9 診療録等は、原則として診療、教育・研究、公法上の規定及び医事調査等による目的以外は

閲覧等を許可しないものとする。

- 2 診療録等の閲覧等及び検索に係る遵守事項については、別に定める。
- 3 診療に必要な外来診療録、入院診療録等は各診療科の依頼に応じ、病歴管理部門が迅速に提供する。

(診療録等の閲覧等の資格)

第10 診療録等の閲覧等ができる者は、次の者とする。

- 一 病院等に所属し、診療に従事している医師及び歯科医師
  - 二 診療従事者として病院長の承認を得た医師及び歯科医師
  - 三 前各号に掲げる者のほか、病院長又は管理責任者が許可した者
- 2 法令等の定めにより、診療録等の提出を必要とする場合の閲覧等については、別に定める。

(診療録等の閲覧等の申請及び許可)

第11 病歴管理部門が管理する診療録等の閲覧等を希望する者は、病歴管理部門が管理する「診療録等閲覧・貸出申込書」(以下「申込書」という。)を病歴管理部門に提出し、許可を得るものとする。

- 2 病歴管理部門は、前項の申込書を受理した場合は、閲覧等の資格及び利用目的を確認し、適当であると判断した場合に閲覧等を許可するものとする。
- 3 閲覧は病歴管理部門閲覧室で行うこととし、貸出は病院等の範囲内とする。

(X線フィルムの院外貸出)

第12 前条第3項の規定にかかわらずX線フィルムの院外貸出については、次に掲げる要件を満たす場合に許可することができるものとする。

- 一 都道府県及び市町村の条例等により、公費負担医療受給申請書等にX線フィルムの添付が求められている場合の患者(患者が未成年の場合の保護者を含む。以下「患者等」という。)への貸出
  - 二 労災認定等の資料としてX線フィルムの提出が求められている場合の労働基準監督署への貸出
  - 三 診療上の必要事由による他の医療機関への貸出
- 2 X線フィルムの患者等への貸出の判断は、当該患者が受診している診療科の主治医が行うものとし、主治医が退職している場合にあつては、当該診療科長が判断する。

(診療録等の閲覧等の期間)

第13 診療録等の閲覧等の期間は14日間とする。ただし、再入院患者の前回入院診療録等は退院日までとする。

- 2 X線フィルムの院外貸出期間は、前項の規定にかかわらず原則として次のとおりとする。
  - 一 公費負担医療受給申請及び労災に係るもの 1月以内
  - 二 その他のもの 2週間以内
- 3 閲覧等の期間終了後もなお閲覧等の必要がある場合は、病歴管理部門の許可を得るものとし、継続できる閲覧等の期間は、前回の閲覧等期間満了日から14日以内とする。
- 4 閲覧等の期間内であっても、診療上、当該診療録等が緊急に必要な場合は、直ちに返却するものとする。
- 5 病歴管理部門が管理する診療録等は、病歴管理部門内の所定の場所に返却するものとする。

(時間外及び休日等の閲覧等)

第 14 土曜日，日曜日，祝祭日及び 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日における病歴管理部門が管理する診療録等の閲覧等については，あらかじめ許可を得ているものを除き，診療上，当該患者の診療録等が緊急に必要な場合にのみ許可する。

2 前項により病歴管理部門が管理する診療録等の閲覧等を行う者は，当該診療録等の所在確認のため，申込書に必要事項を記載して所定の整理箱に投函しておくものとする。

3 前項により病歴管理部門が管理する診療録等の閲覧等を行う場合は，閲覧等を行う者が警務員室から病歴管理部門の鍵の貸出を受けて入室し，退出時は消灯，施錠等の確認を行い，貸出を受けた鍵は退出後速やかに警務員室に返却するものとする。

(雑則)

第 15 この要項の実施に関し必要な事項は，名古屋大学医学部附属病院病歴管理委員会の議を経て病院長が定める。

附 則

この要項は，平成 16 年 4 月 1 日から実施する。

附 則

この要項は，平成 22 年 3 月 10 日から実施する。

附 則

この要項は，平成 24 年 4 月 11 日から実施し，平成 24 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この要項は，平成 28 年 9 月 14 日から実施する。

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人名古屋大学  
総長 松尾 清一

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

現在、医療安全・感染対策担当の副病院長が医療安全・医薬品安全及び医療機器安全の管理業務を行っているため、その者をもって充てることとし、その趣旨は規程上明記する。(本年 9 月末までに改正予定)

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

(ア)「医薬品情報の整理、周知及び周知状況の確認の徹底」に対する対応

従前から、医薬品情報は整理した上で薬事委員会月例報告として月 1 回院内へ周知している。周知状況の確認については、昨年 8 月から各診療科の薬事委員が周知完了報告を薬剤部薬品情報室に提出することにより行うこととした。また、本年 6 月から薬事委員会にて周知完了報告状況を報告することとした。これらの手順については、本年 9 月に「医薬品の安全使用のための業務手順書」に追記し、明確化する予定である。

(イ)「適応外、禁忌等の処方に係る確認及び必要な指導」に対する対応

(適応外)

従前から、適応外については薬品情報室が治験審査委員会で承認した適応外使用医薬品を「適応外投与(承認)一覧」として部内に配信し情報を共有している。薬剤師は処方監査時に適応外使用を把握した場合は、患者への説明及びカルテへの記載が必要であること、治験審査委員会への申請が必要であることを医師に指導して記録を残している。

(禁忌等)

従前から、禁忌処方をチェックするシステムは薬剤部門システム上にあり、処方せんの下部にアラートが印字されるようになっている。薬剤師は処方監査時にこのアラート情報を確認し、個別に医師へ連絡し、当該医師の対応方針を確認した後に記録を残している。

これらの手順については、本年 9 月中に「医薬品の安全使用のための業務手順書」に追記し、明確化する予定である。

(ウ)「医薬品安全管理責任者による確認と指導」に対する対応

医薬品安全管理責任者は、薬事委員会月例報告の周知完了報告状況及び適応外、禁忌の処方時等の把握状況を確認し、把握が不十分であると思われる診療科については診療科長に注意喚起する。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

本院に設置しているインフォームドコンセント委員会委員長をもって充てることを決定している。(平成 28 年 10 月から配置)

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

本院では、説明の実施に必要な方法に関する規程に相当するものとして、「インフォームドコンセント (IC) マニュアル」が既に制定されている。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

病院情報管理システム (電子カルテ) 運用責任者であるメディカル IT センター長 (医師) をもって充てることとし、その趣旨は規程上明記する。(本年 9 月末までに関係規程を改正する予定)

6. 規則第 9 条の 23 第 1 項第 10 号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

死亡症例については、各診療科から全死亡患者の「死亡診断書」を医療の質・安全管理部へ提出させ、同部において「退院サマリー」と併せて内容を確認・検討する。また、死亡診断書提出状況の確認として、死亡退院リストと突合し、死亡症例報告の漏れがないか定期的に確認を行う。以上について、本年 9 月末までに体制を整備し、10 月から実施する。

死亡以外の症例については、医療に係る安全管理のための指針等により、既に報告する基準及び方法等が定められており、これに基づき行うこととする。

死亡症例等の報告実施状況及び確認結果については、従前より管理者が出席する医療の質向上と安全推進委員会で報告することとなっている。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

従来から、大学として公益通報窓口を開設しており、当該窓口をもって充てる。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

**(ア) 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握**

年間1万件以上のインシデントレポートが提出されており、全てのレポートを複数の医療スタッフがそれぞれチェックして、内容によっては各種検討会やWGで検証し、業務改善に結び付けている。その他、以下4項目については医療安全に資する診療内容として定期的にモニタリングしており、これを継続する。

- ① 放射線科医により読影されたレポートの検査依頼医の確認率
- ② 入院患者のリストバンド装着率
- ③ 影響度レベル2以上の患者誤認インシデント件数
- ④ 入院時の転倒転落アセスメント実施率

**(イ) 従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施**

従前より、全職員及び業務委託先社員の医療安全に関する研修の受講状況を把握し、未受講者にはDVD研修又はe-learning研修の受講を促すとともに、研修実施後は研修内容に関する確認テストを実施して理解度を確認しており、これを継続する。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

既存の高難度新規医療技術の提供の適否等について審査している組織を基礎にして、体制の見直しを行い、平成29年3月までに部門を設置する予定。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

現在、高難度新規医療技術の提供の適否等を審査するための手術手技専門審査委員会が設けられているが、平成29年3月までに関係規程の一部改正を行い、必要事項を明記する予定。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

未承認新規医薬品等の使用条件、使用の適否等について審査している既存の組織を基礎にして、体制の見直しを行い、平成29年3月までに部門を設置する予定。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

平成 29 年 3 月までに、既存の治験審査委員会等の規程の一部改正及び新たに部門に関する規程を制定し、必要事項を明記する予定。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

関係規程を整備し、外部委員 3 名を含む監査委員会を設置する。(本年 12 月末完了予定)

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

立入り及び受入れについては、厚生労働省から今後示される内容等を踏まえながら今年度中に決定する予定。

15. 職員研修を実施するための予定措置

現在実施している集合型研修、DVD 研修、e-learning 研修を継続し、既に行っている研修実施後の学習効果測定機能を強化する。また、研修内容を見直し、必要な項目を追加する。(今年度中に実施)

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議で検討中であり、それを踏まえて対応する予定。(平成 29 年 9 月までに検討)

17. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（7）名，専任（1）名，兼任（ ）名  
うち医師：専従（2）名，専任（1）名，兼任（ ）名  
うち薬剤師：専従（1）名，専任（ ）名，兼任（ ）名  
うち看護師：専従（4）名，専任（ ）名，兼任（ ）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

上記 17 のとおり，すでに配置済。